大正九年十二月四日第三種郵便物認可

# 新京日日新聞

夕刊　九月四日

本紙定價　一部五錢　一ヶ月壹圓
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永榮町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯局專用③三三〇五　營業局專用③三三〇〇
發行人　十河榮忠　編輯人　松本勇　印刷人　水越内之介



# 大同攻擊の秀島機 敵陣に激突、全員散華
## 衆敵に應戰壯烈な最後遂ぐ

九月二日察哈爾作戰兵團に屬する〇〇團の秀島機は僚機〇〇臺とゝもに大同攻擊に參加し多大の戰果を收めて根據地に歸還の途中、午後二時半面朝溝(張北西方卅キロ)南方附近敵中地上に激突、全員重傷を負ふに至る、これを認めたる敵は午後五時やゝ前より優勢なる兵力をもつて、同機を攻擊し來りたるをもつて搭乘者は重傷に屈せず勇敢にも機關銃をもつて應戰し、わが〇〇機は空中から全力をもつて本戰鬪に參加し、壯烈なる空陸戰を展開し敵數十を斃したるも遂に衆寡敵せず、搭乘者相次いで戰死せるをもつて秀島中佐は重傷のうちにも自ら飛行機に火を放ち、搭乘者一同枕をならべて蒙古高原の華と散つた、急報により張北より村井部隊の一部、石川部隊が救援に出動し當面の敵を擊退するとゝもに同中佐以下の死體を收容した、秀島中佐は操縱席において他はその周圍において愛機と共に悲壯なる最期を遂げてゐたが重要書類はじめ一切飛行機と共に燒却しありこの變に處し豪膽沈着な行動は全軍より賞讃されてゐる、僚機の報ずるところによれば、秀島機は大同攻擊に際して既に機關部に敵彈を受け搭乘者中にも赤戰死者を生じたるも僚友相援けつゝ辛うじて現場まで歸還し來りたるものゝ如くである、戰死せる搭乘者氏名左の通り

航空兵中佐　秀島正夫(四三)同中尉　堀直則(二八)同中尉　羽根田勝信(二六)同曹長　富永貞美(二七)同軍曹　大島重人(二六)

# 察南自治政府 盛大なる成立式擧行

【張家口四日發國通】察哈爾省二百萬民衆の總意に基き杜運宇、于品卿兩氏を最高顧問として成立した察南自治政府は四日正午より舊察哈爾省政府において各代表多數列席の下に盛大なる成立式を擧行、別項の如き聲明を發した

# 二百萬民衆に告ぐ 察南自治政府聲明

【張家口四日發國通】察南自治政府は成立と同時に左の聲明を發した

▢

こゝに察南自治政府の成立にあたり察哈爾地方二百萬民衆に告ぐ、由來察哈爾の地は僻遠に位し中國四千年の歷史をもつてすと雖も德治及ばず、文化に浴せざること既に久しきものあり、特に最近爲政者は羊頭狗肉の策を講じ、美名に隱れて民衆を僞瞞し、軍閥また專制をもつて相臨み苛斂誅求を事とせり、これがため人民は塗炭の苦みに沈淪し、社會の道德は廢頽せり、故に志ある者は心密かに軍閥政權と絕緣し、もつて察哈爾省民の手によりて自治することの最も適當なるを思ひ、その時機の到來せんことを待望せり、然るに今次華北に起りたる事變により地方軍閥相次で潰滅し、民生やうやく樂業の緒に就かんとす、機逸すべからず、察哈爾省民衆の起つべき秋は今なり、即ち多年の要望に遵ひ東洋道德の誠に立脚して政治の公明を期せざるべからず、即ち自衞の組織を完備して盗匪の橫行を防止して民心を安定せしめ進んで敎育を改善し產業を振興して民衆の生活を向上せしむる我等の任務は極めて重大なりと言ふべし、本委員等は玆に民衆の輿望に基き委員會の推薦を受けし新政權を樹立し諸種の事業を實施して地方人民の福利の增進に邁進せんとす、省民各位は本趣旨を理解し政府の命を遵守し流言に惑はされることなく安んじてその業に就くべし、自今何國人たるを問はず萬邦協和して省民自治を完成し省內の和平に貢獻せんことを期すべし

玆に聲明す

政府組織最高委員　杜運宇　于品卿

## 陸海事件費は臨時軍事費特別會計に移管

【東京國通】支那事變に關する經費の取扱ひ方に關して大藏省では今日まで北支事件費の名稱を使用して來たが、今回臨時軍事費特別會計が設置されることゝなつた結果、陸海軍兩省經費および大藏省所管豫備費を右特別會計に移し外務省の居留民保護ならびに電信電話等の施設等に要する事件費のみを一般會計において從來通り北支事件費として取扱ふことに決定した、なほ朝鮮總督府および關東局所管の事件費も從來通りそれぞれの特別會計において北支事件費として取扱ふ

## 北平地方維持會 財務總管理處を設置

【北平三日發國通】北平市の各種徵稅機關の接收を終つた北平市地方維持會は、三日午後の會議に於てこれら徵稅機關の統轄機關ならびに財政管理機關として財務總管理處を設置することに決定、みぎ初代處長には冷家驥氏を任命するに內定した

# 南滿水害罹災民に 關東軍司令官救恤金

關東軍司令官代理として高級副官小林大佐は四日午前八時卅分國務院を訪問、張總理と會見し南滿の水害罹災民に對する救恤金を手交した【寫眞は向つて右小林大佐、右張總理】

### 張總理談話

植田軍司令官閣下は本日午前八時半小林高級副官を特に私の許に遣はされて、今月來南滿各地に頻發した水害に對し極めて御鄭重に且つ御懇誠溢るゝ御慰問の辭を致され、同時に罹災民救恤の目的を以て巨額の金圓を寄せられました、之は私の全然豫知しなかつた所であり、一層感激を禁じ能はず、小林副官に對し軍司令官閣下が特に國家多事の際に於て尙ほ我が地方民の上に憂慮を煩はされた御懇情に對し感激に堪へず、閣下の御優情を知るに於ては罹災民は勿論全國民も必ずや多大の感銘を禁じ得ないであらう、私は不取敢全國民に代て御禮を申上げると共に充分適切なる方法を以て罹災民の救濟に遺憾無きを期すると共に、又軍司令官閣下の御優情を一般にも傳へ度旨を申上げた次第です恰も本日より全國省次長會議が開催せられてゐますので、本日早速孫民生部大臣に右救濟金を手交すると共に之等地方官をも通じ前記の徵意を實行せしむる樣處置したのであります、日滿兩國官民が兩國の所有出來事に遭遇する每に益兩國不可分關係の眞諦を現實に具體化して來ましたことは我が國前途のため眞に意を强ふする次第であり欣快に堪へません

### 民生部大臣談話

本日關東軍司令官閣下から今次の南滿地方大水災に對しまして御見舞金を頂戴致しました、閣下が我國の國利民福の增進に如何に力强い御指導御援助を與へて居て下さるかは今更私が此處に申上げます迄も無い事でありますが今回は又特に水災御見舞金を頂戴致しましたのであります現在の國內外情勢に鑑み我々は國內民心の安定に全力を盡しまして閣下に御安心を願ひ御心盡しに酬ひ度いと存じます

## 十河、大泉兩部隊再び出動

【宣化三日發國通】卅日午前午後にわたり十河、大泉兩部隊は再度東西に分れ日本軍の手により運行されてゐる平綏線列車にて〇〇方面に勇躍出動した

## 方若氏、高等法院長に任命

【天津三日發國通】南京政府管轄の各機關を接收し近く新陣容の下に更生、北支明朗化に邁進せんとしつゝある天津治安維持會は天津高等法院長兼天津地方法院長に治安維持會委員方若氏を任命した、氏は四十年來の親日家で北淸事變および日露戰爭に際しわが國のため特別の功勞あり勳三等を授けられてゐる天津の名望家である

## 益世報遂に廢刊

【天津三日發國通】大正四年排日および排日貨運動の潮流に乘り天津に創刊されて以來終始一貫排日指導に沒頭してゐた漢字新聞益世報は天津治安維持會から發行を認められず郵送ならびに配達をさしとめられたがイタリー租界に立籠つて依然發行を繼續し、最近全く棄鉢的態度で日本に盾つき二頁に減頁して餘命を保つてゐたが、遂に二日の七千六百五十三號を最終刊として廢刊を發表し、排日紙益世報はこゝに二十三年の歷史を閉じた

# 唐官屯、馬廠の敵陣に 空陸から總攻擊開始

【劉官屯四日發國通至急報】劉官屯を中心に附近の殘敵を掃蕩中であつた〇〇部隊は四日午前六時卅分全力を擧げて唐官屯、馬廠に集結してゐる第卅七師、第卅八師兩師の敵陣に總攻擊を開始、折から〇〇根據地を發したわが空軍も銀翼を連ねて敵上空に現はれ爆擊を開始し砲聲は陣地に殷々として痛烈を極め、敵の大部隊は早くも動搖を示してゐる

# 北停車場、閘北方面を爆擊

【上海四日發國通】四日午前六時頃爆音勇ましく〇〇隊のわが空軍は浦東、南市、閘北、眞茹方面を偵察、七時四十分よりは北停車場、閘北および商務印書館方面の敵陣地に果敢なる爆擊を行ひ敵に多大の損害を與へた

# 常熟の敵密集部隊を空爆

【上海四日發國通】わが海軍航空隊〇機は三日常熟に集結しつゝあつた敵豫備隊に對し猛烈な爆擊を敢行し、敵に甚大なる損害を與へた

# 蔣、運命を賭して 上海附近に大部隊集結

【上海三日發國通】わが軍の痛擊に對し敵は後方部隊を續々繰出し、新手をもつて頑强に抵抗してゐるが、蔣介石は上海附近の大會戰をもつて南京政府の運命を決定するものと認め中央軍の主力を此方面に集結してをり、三日確實な調査によれば敵の總兵力は廿ヶ師十五萬にのぼつてゐるがその配置はつぎの通りである

一、嘉定、劉河方面　羅卓英(第十八軍長)を總指揮に十一、十四、六十七、九十八、九十九の五ヶ師を配す

二、吳淞、江灣、閘北、南翔方面　張治中總指揮に卅六、六十、六十一、八十七、八十八の各師を配す

三、浦東、南市、嘉興を中心とする滬杭甬鐵道沿線　劉建緒を總指揮に十五、十六、十九、六十三(以上湖南軍)五十五、五十七の各師を配す

四、豫備隊二、百十二師等

なほこれら前線部隊の總司令は顧祝同で、司令部を蘇州に置き、軍政部次長陳誠は蔣介石代理として南京、蘇州を往來中央の軍令を傳達してゐる

# 非戰鬪員住居地帶へ 支那軍砲擊を加ふ

【上海三日發國通】第三艦隊報道班午後八時卅分發表＝三日午後二時頃浦東側及び閘北地區の支那軍は突如共同租界に對し榴散彈、迫擊砲彈をもつて猛射し來りわが總領事館において四名の重傷者を出し虹口地區內には又多數の重輕傷者を出した、わが江上艦艇及び海軍航空機はこれに對し敢然反擊爆擊をあびせこれを制壓したが、右の支那軍射擊は目標を明かに無辜の非戰鬪員たる居留民の住居地帶にとり、又外交機關たる總領事館を射擊せるものであり、すでに支那空軍の無軌道なる暴逆は全世界の驚愕と憤激を買つたが、今回の如き行爲に至つては更に野蠻極まるといふ外に言葉はないのである、正義と東洋和平のため敢然軍を起した帝國海軍は特に報復手段を弄するが如き小人的行爲はとらざる所であるも一層膺懲の手を延すべきことはやむを得ざる所であると信ず

# 敵遺棄死體一萬 死屍累々として風腥し

【上海三日發國通】羅店鎭よりの歸來者の談によれば、わが部隊の上陸地點〇〇街西北の廣範な地域の田畑、クリーク、人家附近の敵兵の死體は實に數千乃至一萬に達するものとみられ、救援の手なきため負傷者も殆ど死亡し、水田畑の中など死屍累々として橫たわり、江南を通る秋風は惡臭鼻をついて臭氣迫るものあり彼我戰鬪の如何に激しかつたかを如實に物語つてゐる

## 「政府の決意」を 首相今夜放送

【東京國通】近衞首相はわが帝國政府の時局に關する固い決意を披瀝、國民に認識理解せしめるため四日午後八時から十分間AKのマイクから「帝國政府の決意」と題して講演放送を行ふことになつた、AKではこれを全國に中繼するが首相今回の放送は就任以來第三回目である

## 人事往來

### 着京

▲神尾弌春氏(龍江省次長)三日來京ヤマトホテル
▲林文三郎氏(會社員)同
▲坂本淸三氏(同)同
▲藪田貞次郎氏(東京帝大敎授)同
▲渡邊嘉吉氏(大阪商船大連支店長)同
▲有田宗義氏(滿鐵)同國都ホテル
▲石田喜一郎氏(商業)同
▲關口要藏氏(奉天省公署)同
▲山本實氏(大日本ビール支配人)同
▲後鄉芳雄氏(滿鐵)同
▲高橋誠一氏(大林組)同
▲淺羽傳六氏(官吏)同
▲飯島健次郎氏(官吏)同國際ホテル
▲足立美藤英氏(敎員)同
▲三木原勝美氏(ハルビン滿蒙訓練所)同
▲村越司氏(滿鐵)同
▲淸野信雄氏(會社員)同
▲堀江茂二郎氏(三井鑛山)同
▲原田耕作氏(朝鮮商工會社)同
▲西田彰一氏(同)同
▲宮副彥四郎氏(商業)同
▲春日會次氏(官吏)同
▲上田安次郎氏(不動產信託取締役)同
▲八尾直之助氏(貿易商)同新京ホテル
▲田中保郎氏(大同洋灰)同
▲藤村政曉氏(西安炭鑛)同
▲中村輝明氏(同)同愛國ホテル
▲海老谷暢啓氏(商業)同
▲佐藤忠一氏(同)同
▲三谷淸氏(吉林省公署)同滿蒙旅館
▲迫田福馬氏(官吏)同
▲渡邊恒七氏(商業)同蓬萊ホテル
▲藤原慶一郎氏(官吏)同
▲市川正俊氏(同)同富士屋
▲千葉傳治氏(同)同
▲淸野淸太郎氏(農業)同

### 出發

▲吉武正男氏　三日發大連へ
▲永田久次郎氏　同
▲神崎一也氏　同
▲村田熊三氏　同
▲武安俊彥氏　同奉天へ
▲龜田武吉氏　同
▲安藤一郎氏　同
▲吉岡義三郎氏　同
▲峯尾都治氏　同
▲星野龍男氏　同
▲原田和明氏　同
▲德田貞一氏　同
▲石田喜一郎氏　同
▲飯塚精明氏　同
▲竹村茂孝氏　同
▲松岡守一氏　同吉林へ
▲山根鑑司氏　同



## その日く

▢ 議事堂に示す擧國一致の靡、遙かなる前線へ短波でゞも送つてはどうか

▢ 膺懲の費として莞爾と國民が決意する豫算の額、支那知るや否や

▢ 戰線に勇士歸還の劇的場面など續く、演劇映畫界は材料を得るに困らない

▢ そのむかし瀋陽をわが軍占領したけふ、ニコライ二世の日記でも讀むか

▢ 朝さきの日の列車顚覆事件公表あり、午後東滿に逝ける若人たちを悼む、秋風切々

# 協和會全聯協議會
## 愈よ十一日より開催
## 國務院で會期は四日間

滿洲國の民意暢達機關たる協和會の康德四年度全國聯合協議會は全滿の省、縣、旗、市の各代表者百七十名および政府その他關係各機關參與參會の下に來る十一日より四日間國務院會議室において左の日程で開催される、今年度の協議會において特に注目すべき傾向は各代表が昨年度は百十七名であつたのが今年は一躍五十三名增加し、更にこれを民族別にみれば日系廿名、滿系百卅七名、蒙系六名、鮮系六名になつてゐることおよび各代表提出の議案は二百十二件これを整理して百五十五件となつてゐるがその中經濟部關係議案が斷然多數を占め、その數廿五件におよび、協和會自體に關係する議案は三十四件に達してゐる點であるがこれ等は協和會陣容の擴大强化を物語るとゝもに躍進途上の滿洲國の經濟發展策に對する各地方の熱意を如實に示すものとして本會議の成果には多大の期待が拂はれてゐる、なほ聯合協議會代表一同は來る十六、七兩日新京において開催される國都建設記念式典ならびに慶祝記念行事にも各民族を代表して出席する筈である

△第一日(午前九時開會)振鈴開會、滿洲帝國國歌合唱は會長訓詞、名譽顧問訓詞、會務報告、代表氏名點呼、議長及副議長の選任、議長の挨拶、各種委員會の設置(一、宣誓文起草委員會二、議案整理委員會三、中央本部諮問事項審議委員會)前年度全國聯合協議會決議事項處理經過報告、政府各機關施政方針說明(一總務廳二、內務局三、地籍整理局四、治安部五、民生部六、産業部七、經濟部八交通部九、司法部)

△第二日(午前九時開會)振鈴開會、宣誓文發表、議案整理委員會經過報告、議案審議(一、會關係議案二總務廳關係議案三、內務局關係議案四、治安部關係議案)

△第三日(午前九時開會)振鈴開會、議案審議(一、民生部關係議案二、産業部關係議案三、交通部關係議案四、司法部關係議案)閉會

△第四日(午前九時開會)振鈴開會、議案審議(一、經濟部關係議案二、特殊會社關係議案)審議經過報告、中央本部諮問事項答申案審議、獎狀授與、所感發表、本部長挨拶

## 協和會談話發表

康德四年度全國聯合協議會開催に當り協和會では左の如き當局談を發表した

全國聯合協議會の開催は今年度で四回目であるが、これに參加する各關係機關ならびに分會代表の認識が回を追うて深まり、宣德達情の機能が漸次發揮されるやうになつて來た事は洵に滿洲帝國の健實なる發展のために喜びに堪へない、今年度代表の中には日系が二十名參加してゐるが是は協和會の組織網が日本人間に伸びた證左であると同時に治外法權撤廢後の聯合協議會の發展性を示唆するものである、協議會の精神は上意を下達し、下情を上達し國家の實情に即した政策を樹立するために官民相互に道義心に立脚して隔意なく協議し合ひ、決議せられた事は各自の責任において實行すると言ふ點にある、本當にこの精神を體得し實踐して行つてこそ聯合協議會が王道滿洲國の政治の一特徵としての實質を備へるに至るのである、この事に關しては協議會に參加せらるゝ官民各位の一層の理解を希望して止まぬ次第である

## 記者聯盟代表一行の
## 皇軍慰問報告
### 來る七、八兩日講演會開催

全滿記者聯盟を代表して、北支の第一線に在るわが皇軍將士を慰問しこの程歸京した高柳弘報協會理事長、村田滿日社長、大石大同報主幹、大西國通編輯局次長の四氏は最前線の實狀を市民に報告するため全滿記者聯盟主催、關係各新聞社後援の下に來る七日市內西廣場滿鐵倶樂部、八日新京特別市大經路小學校で皇軍慰問報告講演會を開催することになつたが當日は滿鐵映畫協會提供にかゝる支那事變實寫映畫を第一輯より最新着の第七輯まで併せて公開、眼と耳の兩方より支那事變は如何にして起きたか、また如何なる推移を示してゐるかを說明し超非常時における國民の固き決意を促す筈である、入場無料

△七日(午後六時半開會)會場西廣場滿鐵倶樂部
一、講演 弘報協會理事長陸軍中將高柳保太郎、滿洲日日新聞社長村田懿麿、滿洲國通信社編輯局次長大西秀治
二、ニュース映畫

△八日(午後六時半開會)會場大經路小學校
一、講演(滿語)大同報主幹大石智郎、滿洲國通信社編輯局次長大西秀治
二、ニュース映畫

## 滿洲事變を偲ぶ
## 〃滿洲の夕べ〃開催
### 十九日西廣場倶樂部で

滿洲事變に赫々たる武勳をたてた步兵第四聯隊關係者をもつて組織せる步四會では十九日の滿洲事變記念日を期し同時午後六時三十分から新京西廣場滿鐵倶樂部で〃滿洲の夕べ〃を催し新京詩吟會の詩吟劍舞、當時實戰に參加して偉勳をたてた勇士の『南嶺、寬城子實戰談』實戰活動寫眞の上映等をなし市民と共に當時を偲ぶことになつた、なほ同催しは步四會主催、新京在鄉軍人聯合會、新京詩吟會、滿鐵社員倶樂部及び本社が後援となり最も盛大に擧行すべく準備を進めてゐる

## 星野長官發議で
## 草刈り週間

星野總務長官の發議によつて總務廳の全官吏は四日午後一時から〃草刈り週間〃を開始六日以後四時から近傍の秋草刈りを行ふこととなつた、これは官民による奉仕勞働の先驅をなすとゝもに今日の戰時體制下に馬料の獻納を行はうとするもので先づ總務廳近傍宮廷府前一帶の草を採集して獻納、將來は他の各部局をも動かし國都建設局の土地選定、畜産局の指導援助等によつて牧草の栽培をも行ふ計畫であり、明年以後も毎年繼續して大規模に實行すべく多大の効果を期待し得るものとされてゐる

## 新京稻荷神社の
## 宵祭り賑ふ

新京稻荷神社の宵祭りは秋晴れの天候に惠まれたけふ四日午前十一時から擧げられた、參詣者の打鳴らす鈴の音も繁く午前中には早くもこれ等善男善女は五百餘名に達し時局柄例年より參詣者も多く、午後一時からは經王寺の谷口住職の祭司で市民安泰、商賣繁昌の新禱が催された、尙今夕八時からも同樣祈禱をあげる
五日の本祭りは午前九時午後一時の二回に亘つて帝國國威宣揚、皇軍武運長久を祈禱の國禱會が催される

## 三井、三菱から
## 各十五萬圓
### 滿洲防空費へ獻金

三井、三菱兩財閥は支那事變の擴大につれわが生命線たる滿洲における防空施設整備の急務を痛感し之が施設費として滿洲防空協會並に飛行協會へ兩財閥より各十五萬圓宛卅萬圓の獻金方を申込んだ旨今三日、東京丸ノ內日滿實業協會總務塚野俊郎氏より飛行協會に入電があつた

## 秋晴の運動場に
## 溌剌、健康讃歌
### 職員養成機關聯合體育會展く

大滿洲帝國政府職員養成各機關聯合し統制ある行動をなしもつて民族協和の間に正義觀念の涵養、個人體位の向上を企圖し時に時局の進展に鑑み意氣を振作鼓舞せんと企畫された第一回大滿洲國政府職員養成機關聯合體育會は秋天高く晴れた四日午前九時より涼風爽やかな南嶺國立綜合運動場競技場に於て來賓多數を迎へ盛大に擧行された

定刻大同學院の二百二十三名を先頭に中央警察學校百二十名、財務職員養成所百七十五名、司法部法學校九十四名、敎員講習所二百二十三名、地籍員養成所二百十五名、郵政講習所六十九名、農林技術員養成所八十四名の職員學生入場

大會委員長恒吉大同學院學監の開會の辭についで日滿國歌合唱裡に日滿國旗掲揚を行ひ皇室帝室を遙拜し會長大同學院長井上中將の訓示、恒吉學監の時局に對する宣言及激勵文の朗讀、總裁張國務總理の訓示あり井上大同學院風長の閱兵の後軍樂隊の吹奏する勇ましい行進曲に足並も麗はしく恒吉學監の總指揮で分列式を行ひ莊嚴な入場式を終へ直ちに參加全人員千二百餘名上衣を捨て整然たる建國體操にまづ溌剌たる健康美をたゝへ引續き勇敢な騎馬戰から競技大會に入つた、午前中の成績左の如し【寫眞は建國體操】

▲騎馬戰
第一回 敎員講習所優勝
第二回 司法部法學校優勝

▲四〇〇米リレー
(一)財務職員養成所(五十五秒十分の二)(二)司法部學校(三)地籍員養成所

▲八〇〇米リレー
(一)敎員講習所(一分五十秒十六分の六)(二)郵政講習所、大同學院

## 蠅は三十五萬匹
## 南京虫は一萬
### 右、買上成績は良好にて候

首都警察廳衛生科が特別市公署と提携、夏から秋への傳染病豫防と一般市民への衛生思想普及のため去る七月二十三日から行つた南京虫及び蠅の捕獲買上げは非常な好成績裡に進み南京虫は既に一萬匹とも買上げたので一先づ打ち切つたが蠅の買上げは實施以來二日現在の十日間でマッチ箱に三千五百個約三十五萬匹に達し受付個所たる首都警察廳管下各署、分駐所にはなほ蠅の買上希望者が引きも切らぬ有樣である、買上締切りは來る十九日までゝ終了とゝもに捕獲量の多いものから五等までに賞金を授與することになつてゐる

## 搔拂ひ捕る

中央通十二番地本城ビル內に於て目下見本市開催中の奉天富士町八、井上省三氏は三日午後九時三十分頃賣上金六十圓在中の蟇口を賣臺の前においた一寸の隙を折柄多數つめかけた客に交つてゐた支那人風の男が突然搔拂ひ逃走したので店員王立倫、金義淸兩名は直ちに追跡すると共に、西公園派出所に屆出で馳けつけた小野巡査と協力千鳥町一丁目路上で逮捕本署に連行したが、犯人は吉林省懷德縣生れ喬雲淸(三五)で追跡されつゝも拳銃を所持せる如く裝ひ追跡者を近寄らせずその大膽さは意外の大物と見られ餘罪追及中である

## 故大橋滿航社員
## 告別式執行

去月二十八日牡丹江省密山縣下に於て壯烈なる戰死を遂げた滿洲航空會社々員大橋正芳氏の告別式は四日午後二時より新京記念公會堂に於て滿洲國治安部、外務局戰死者と合同にて盛大に執行されたが遺骨は五日午前十時新京驛發とで航空會社柴田寫眞部長が捧げて離京五日奉天に於て盛大な航空會社々葬が營まれることになつた

## 野球選手を勸誘
### 新京倶樂部關係各會社では
## 早くも新採用準備

來春採用する新社員に對しては滿鐵新京支社始め各會社とも首腦者間により〲審議されて居るが、何れも溌剌たるスポーツマンの新鮮明朗な性格と、私心なきチームワークに鍛へられた協和精神で不斷の努力に邁進する若人が話題の中心となつて居る、新京倶樂部關係の滿鐵支社、滿洲炭鑛會社、採金會社その他でも來年度新採用者に多數野球選手を加へることゝなり、過般內地で擧行された全國中等學校選拔野球大會に出場した選手中の明春の卒業生に對し就職勸誘狀を學校宛それ〲發送したが應募者も相當ある見込みで新人選手によるきびきびした新京倶樂部來年の活躍が大いに期待されてゐる

## 新京署コート開き
## あす擧行

既報、新京警察署新設コート開き庭球試合は諸般の設備整ひ愈よ五日華々しく開催するが、當日午前九時より開始午前中新京署內BC組の藤島署長寄贈優勝盃爭覇戰を午後一時より關東局警務部對新京署A組對抗の青木關東局警務課長寄贈優勝盃爭覇戰を行ひ試合を終了後祝宴を開き解散の豫定である

## カフエーで暴行

本籍愛知縣碧海郡明治村六曙町二ノ一二岩田稔(四二)は三日午前一時三十五分頃東一條通二〇カフエーオリンピツクに於て酩酊の上女給その他營業主を毆打し暴行を働いて仕末に終へず日本橋派出所に屆出、同所より係官出張本署に保護檢束され一夜を流置場に



## 全國省次長會議
### 重大時局に對處、けふ開會

滿洲國政府は時局の重大なるに鑑みさきに行政機構改革後最初の省長會議を開催、政府の態度方針を闡明したが、その後發展せる情勢に對應すべき政府の決意を明示するため四五兩日國務院において第一回全國省次長會議を開催した政府は産業開發計畫を樹立しついで行政機構の大改革を斷行して國防的國家の體制を整備して國力增强を企圖したが

今次事變の發展に伴ひますますその必要を痛感するに至つた殊に産業經濟の飛躍的增强を圖り友邦日本の必要とする資材の供給を圓滑ならしめるため事變發生とゝもに五ケ年計畫の資金調達には重大なる困難を來したが、凡ゆる困難を打開して時局に伴ふ緊要施設に全力を集中すべき政府の大方針を闡明せんとするものである【寫眞は次長會議】

## 庭球大會は來十二日の誤り

五日附四日夕刊、軟式庭球選手權大會期日、五日とあつたは十二日の誤り從つて出場申込みはまだ受付ける

## 有田元外相歡迎午餐會

田中中銀總裁は有田元外相の歡迎午餐會を四日正午より中銀クラブに於て開催特殊各理事も出席して盛大であつた

## 大谷光照師
### あすはとで來京

北支及び在滿皇軍慰問の途にある西本願寺大谷光照師は五日あじあで來京豫定のところ日程を變更して同日午後八時四十五分着はとで來京することになつた、一行は大阪別院輪番本多惠隆、岡部宗城、伊藤照屯、中戸顯正の諸氏でヤマトホテルに投宿の豫定

## 小日山社長歸任

小日山昭和製鋼所社長は三日午後十一時四十分發列車で歸任した

## 菅野課長出張

滿鐵新京支社庶務課長菅野誠氏は本社と事務連絡のため三日午後九時五十分の列車で大連に出張した約一週間の豫定

## 花輪領事寄附

新京總領事館花輪司法領事は子弟の八島小學校在學記念として同校父兄會に金五十圓を寄附した

## 藤江少將寄附

前警務部長藤江少將は八島小學校父兄會に子弟在學記念として金五十圓を寄附した

## 滿洲豆稈パルプ首腦部挨拶來社

今次開原に創立を見た滿洲豆稈パルプ股份有限公司の首腦部酒井伊四郎、渡長次郎、戸倉誠司三氏は三日挨拶に來社

## 新京組合教會

九月五日午前九時日曜學校
同十時半禮拜說敎「崩れぬもの」高橋牧師
老松町普通學校正門前

## 日の出を拜する集ひ

五日(日曜日)日出六時五分西公園誠忠碑前にて日の出を拜する集ひ市民早起會右終つて

## メソヂスト敎會

一、日曜學校 午前九時
一、聖日禮拜 午前十時十五分
說敎 柴崎白尾兄
夕拜 午後八時

## 日本基督敎會

一、日曜學校 午前八時半
一、聖書學校 午前九時四十分
說敎「使命と確信」石川牧師
一、夕拜 午後八時
說敎「キリスト敎の終末觀」石川牧師

## あす(九月五日)

▲稻荷神社秋季大祭
▲土星會洋畫展、三中井
▲滿鐵庭球コート開き、午前十時
▲秋季第二次競馬第六日

【今晩の主なる演藝放送】
▲アイヌ音樂(旭川)旭川近文舊土人部落連中
▲八・一五皇軍慰問の夕「慰問袋につめる」(東京)



當司特務科事務官小山田直右衛門氏は本月二日錦州省警務指導官會議席上腦溢血にて卒倒致し直に應急手當を施したるも藥石效なく遂に同日午後七時二十分死去せらる遺骨は五日着京告別式は六日午後三時より市內祝町太子堂に於て警務司葬を以て執行致すべきに付此段御通知申上候

康德四年九月四日
葬儀委員長治安部警務司長 澁谷三郎

## 演藝映畫

### 皇軍慰問獻金募集 琵琶演奏會開催 十一日夜西廣場倶樂部で

新京の琵琶師匠によつて組織される研精會では來る十一日午後六時より西廣場滿鐵倶樂部で皇軍慰問と獻金募集を兼ね筑前、薩摩琵琶ならびに映畫の夕を開催する、軍人は無料、一般からは卅錢の入場料を徴收するが、これは全部皇軍慰問金に當てる筈である

### 外畫制限に備へ 一本立興行實現か

戰時體制による映畫界への反響は、先づ外畫の輸入制限が早晩國内統制を餘儀なくされる必至の情勢にあり邦畫映畫界にあつてもこの程内務省が關係代表者を招致、軍事物の檢閲方針及び國民精神作興による一般映畫製作に關して懇談せる模様で、昨秋第一回の内務省、映畫界關係者による懇談會に次いで、殊に現下時局に直面し統制は拍車をかけられるものと見られる尚ほかゝる情勢下で直に實施されるものは、興行時間の短縮（一興行三時間制）による一本興行等であつて、既に松竹洋畫部では九月一週から試驗的一本興行を企畫してゐるほか、大勢は外畫の國内興行が必然的に一本立興行に行くものと見られ、同時に邦畫の海外への進出が今後統制下邦畫陣の課題となるものと見られる

### セルズニックが新聞の歴史を映畫化

ユナイト傘下ダビッド・セルズニックは、米國のA・P（聯合新聞通信社）の歴史を映畫化する事を發表した、該A・P社は一八四八年に新聞社の記事、通信の集合發表の共同機關として何等の利を目ず共存共榮を目的として創立されて以來、今日の大をなすまでの全貌を描くもので、これが製作には全米の新聞社がA・Pを中心に全力の後援を致しA・Pは創立以來の諸記録を全部提供、「新聞紙とジャーナリズム」に關する大百科辭典的映畫として完成を期待されてゐる

### 曾根千晴の「强者の戀」

中野實原作、陶山密脚色「强者の戀」は新興大泉曾根千晴監督により、このシーズンに送る邦畫陣中の一異彩篇たらしむべく、義理と人情に生きる侠骨兒三河座紋三の挿話を描く主題にふさはしく、キャストに時代劇畑よりの腕達者河津清三郎、毛利峰子、新鋭大内弘を起用、これに大泉の新人賣出しスタアの隨一平井皷代子を配して興味ふかい組合せを作り、河津の大亂闘、大内初のラヴシーン、毛利初の洋装、平井初の悪婦役等様々の趣向を盛つて、古泉勝男の流麗なカメラにより、クランクを完了、直ちに編輯整理に入つた



### さぼてん

銀パレスの美代子さんは極東映畫の籍もその儘に何を思つたかはるばる滿洲迄來て女給生活、入つてる「滿洲國の映畫女優さんになつて出る氣はありませんか」と云ふと「そんなのインチキぢやない？」と盛んに念をおす、察するにこれは昔の所がインチキだつたらしい（オットおこられるかな）▼スタヂオや女優生活の裏面を仲々詳細に面白く説明してくれた、聞きたい人はどうぞ▼もと「銀麗」にゐたせい子クンが「いなり」に現はれた、細いからだをしてゐるくせに大きな聲で歌を唄ふて昔の通りだが、その他のことは知らん、マダひの百合子クンも近頃肥えたやうだ、誰かもう一周り大きい支那服を新調してやつて下さい

### 雜音

帝都キネマの初日は順調な入り、三本何れも比較的質のいゝところが取り得である今週も一日約五時間、戀ものがたりにほれぼれと堪能さしてくれる▲次週は「ローズマリー」「三十九夜」など、次いで又「ギャング映畫大會」なども目論まれてゐる、ユナイトの「市街戰」などが見ものであらう▼豐劇はけふから名畫週間の二の替り、「間諜マタハリ」「ベエテルの歡び」「クレオパトラ」の三本、ガルボ、クローデツト・コルベール、フランチエスカ・ガールの顔合せとみればこれ又愉しめる

### 大同劇團放送を聽く（下）

波多徹

滿洲國人演技者が滿語で發すア台詞を受取つて日本人演技者乃至は日語を語る可き役目を負はされた滿洲國人演技者は日本語の台詞で受ける。そしてそれは私達の様に滿語の解らない者達にとつては劇の大意を了解させる主要な役割を果すことは勿論、劇團の眞意圖が那邊にあるかを考察する時それ等はより以上滿洲語で演出さる可きものではないかと考へられ得る程重要なものだと思ふ、さうして醸し出されるその雰圍氣は私達にとつて何の不自然さも感じさせないばかりでなく、實にトーキーの伴奏的効果さへ副へてゐるかの如くである、私はこゝで洗錬された滿洲語と言ふものが如何に音樂的であるかと言ふことも嬉しく知悉したわけである。本劇團が結成第一回公演に當つてかゝる劃期的な試みを試みしかも相當な効果を擧げ得たと考へられるのは實に滿洲國文化運動史上に一大金字塔を樹立したものと言つても差支へないところであらう、滿洲新劇の一大進路を開拓したものと言つてよからう、私供は益す劇團の建やかな生育を祈つてやまないところである

### 九星

九月五日 日曜 舊八月一日 乙未 友引 閉 昴宿

●一白の人 爭論口舌は絶交の本となる恐れある日注意乙と丁と辛が吉
●二黒の人 平和に安んずべき日無理の行動は妨げあり甲と亥と寅が吉
●三碧の人 禍は内より起る和合專一に本業を勵むべし丙と庚と辛が吉
●四綠の人 難關を無理に通らんとすれば破滅を見る日丙と丁と庚が吉
●五黄の人 志望半ば成りて半ば達し難き日病厄亦注意甲と亥と寅が吉
●六白の人 進むに急なれば進路遮らる漸進するに吉し甲と庚と辛が吉
●七赤の人 氣運に異狀はなけれども物事に迷ふは不利庚と辛と壬が吉
●八白の人 意思通りに運ばぬ日移轉開業等差控ゆべし甲と亥と寅が吉
●九紫の人 此日の去就は永久の利害に關す熟慮を要す丙と癸と寅が吉



### 第十三回壽(大)搖彩票當籤番號並ニ配當金公告

發賣金額 四萬六千圓也

| 着順 | 馬番號 | 馬名 | 當籤番號 | 配當金額 |
|---|---|---|---|---|
| 第一着 | 5 | 昌榮 | 二、九〇三 | 二六、七四四、〇〇 |
| 第二着 | 13 | 安東千里 | 二四、〇六二 | 四、七八四、〇〇 |
| 第三着 | 7 | 嵐山 | 一、七九〇 | 二、三九二、〇〇 |
| 着外 | 1 | 撫順紅梅 | 一三、七九九 | 五九八、〇〇 |
| 同 | 2 | 安東雪 | 二、〇二六 | 五九八、〇〇 |
| 同 | 3 | 彈丸 | 四、〇八九 | 五九八、〇〇 |
| 同 | 4 | 栗駒一 | 一〇、〇五三 | 五九八、〇〇 |
| 同 | 6 | 遼東豪 | 二〇、九七五 | 五九八、〇〇 |
| 同 | 8 | 守 | 二七、〇〇三 | 五九八、〇〇 |
| 同 | 9 | 建勳 | 一、四四九 | 五九八、〇〇 |
| 同 | 10 | 勝武 | 二、二七八 | 五九八、〇〇 |
| 同 | 11 | 英 | 一四、一九二 | 五九八、〇〇 |
| 同 | 12 | 奉天電光 | 二四、〇二二 | 五九八、〇〇 |

康德四年九月二日
滿洲帝國畜産局

大正九年十二月十四日　第三種郵便物認可

# 新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓五十錢（郵税一ケ月拾五錢）
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用（3）三三〇五 營業局專用（3）三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介



# 北四川路第一戰線の敵陣地一部を粉碎す

## 寶山縣城敵陣地を包圍し 我が軍激戰後降伏を勸告

【上海四日發國通】午後二時五十分わが空軍二機は北四川路西方の敵第一線陣地に爆彈數箇を投下、敵陣の一部を粉碎した

【上海四日發國通】寶山縣城西方一キロの金家宅附近に敵有力部隊はクリークを利用して寶山縣城方面の敵と相呼應し、堅固なる陣地を構築わが軍の進出を阻止しつゝあるので、わが軍はまづ砲兵隊をもつてこれに砲擊を加へ目下激戰中である

【上海四日發國通】〇〇部隊の淺間部隊は獅子林砲臺を占領後三日夕刻に顧家宅を占領吳淞鎭方面より進出の鷹森部隊との距離僅かに二キロに縮め、寶山縣城包圍の體形を進めてゐる

【上海四日發國通】吳淞鎭及び吳淞砲臺占領後の鷹森部隊は破竹の勢で三日寶山縣城內凡そ六百米の朱家宅に殺到したが、寶山縣城にはなほ非戰鬪員若干が殘留しこれに敗退兵が混入してゐること判明したので、わが軍はこれ等非戰鬪員の安全を期するため飛行機より投降勸告ビラを撒布目下投降勸告中である

## 北停車場一帶 敵軍大動搖す

### 第〇艦隊報道班發表

【上海四日發國通】第〇艦隊報道班四日午前九時半發表＝海軍航空隊は浦東および閘北方面の敵に對し昨日午後に引續き本日早朝より徹底的爆擊を實施し浦東金家橋鎭附近および閘北北停車場附近の敵に大動搖を生じつゝある

### 北四川路西方

【上海四日發國通】四日午後二時五十分わが空軍二機は北四川路西方の敵第一線陣地に對し爆擊を敢行した

### 商務印書館附近

【上海四日發國通】北停車場および商務印書館を根據とする敵は昨夕來堅固な砲兵陣地を構築しつゝあるをわが偵察機が發見し四日早朝來これに徹底的空爆を加へ全く破壞しつくした

### 見事な低空飛行

【上海四日發國通】四日午前十一時五十分わが海軍機四機は再び北停車場、商務印書館上空に現れ見事な低空飛行を行ひつゝ敵陣地に爆彈七個を投下し多大の損害を與へた

## 運命を賭す支那

### 上海戰線に精銳部隊を集結 我後方攪亂を策す

【上海四日發國通】羅店鎭、月浦鎭、獅子林砲臺を占領した〇〇部隊及び吳淞鎭、吳淞砲臺を占領した〇〇部隊は寶山縣城附近で連絡し上海租界守備の海軍陸戰隊と相呼應し、敵を包圍の形勢をとつて壓迫しつゝあるが、蔣介石は南京政府及び自己の運命を定める重大視し上海方面の戰局を頗る重大視し北支方面に差向けありし中央軍を呼返し續々上海方面に集中し敵兵力は逐次增加の傾向にあり目下判明するもののみでも次の如し

一、劉家、嘉定方面、すなはちわが軍最右翼方面では太倉に本部を置き兵力四萬の有力な敵兵團あり、引續き後續部隊集結中

一、股行鎭より寶山縣附近に至るわが〇〇部隊の前面には保安總團、敎導總隊等の有力分子を含む推定兵力凡そ三萬五千の大部隊がクリークを利用堅固な陣地を占據、抵抗を繼續中

一、北停車場より楊樹浦、市政府方面にて江灣を中心に中央軍中でも最も精銳を誇る第二師をはじめ第三十三師、第五十七師の凡そ二萬の兵が半永久的防禦工事を施し蟠居その後方大場鎭には第八十七師、眞茹には第十一師、南翔には第十四師があり、クリークを利用これまた本格的防禦陣地を建設しをれり

一、浦東方面には凡そ一個師の兵力あり、わが後方攪亂を企圖しをれり

## ソ聯對支援助いよいよ露骨

### 飛行機操縱士入込む

【東京四日發國通】四日到着せる確實なる情報によれば今迄に戰亂の支那戰線へ到着したソヴイエト軍用飛行機は總數二十九臺に達し之に必要なソヴイエト人操縱士も多數入込んで空中戰に參加して居り現にソヴイエト極東軍所屬某飛行中尉は去る十八日の日本空軍との空中戰において負傷しカントリー・ホスピタルに入院したが遂に死亡した、しかして目下外蒙經由上海方面に輸送中のソヴイエト機ならびに武器は飛行機二百五十臺大砲百門、高射砲百五十門でソヴイエト政府の對支軍事援助はいよいよ露骨となりつゝある

## 唐官屯を占領す

### 第廿九軍最後の陣地

【唐官屯四日發至急報】四日朝より行動開始廿九軍最後の陣地唐官屯の堅壘にある四個旅二萬の大軍に對し猛然攻擊中の我赤柴部隊は同午前九時半遂に唐官屯を占領

【天津四日發國通】唐官屯は敵軍の多數集結せる馬廠の軍要防禦陣地にして同地の陷落は敵に多大の衝擊を與へてゐる、一方唐官屯西方東子牙鎭にあつた敵も南方に潰走しつゝある、捕虜の言によれば馬廠には第二十九軍の第三十七、三十八師の主力が存在することが判明した

## 不逞な南京政府

### 青島電報局乘取りを策す 大鷹總領事嚴重警告

【東京國通】四日大鷹青島總領事よりの公電によれば青島の日本電報局は邦人總引揚げとゝもに閉鎖されることゝなつたのでわが領事館より支那電報局に對し右閉鎖通知ならびにその保管方を依賴したところ、南京政府交通部は支那電報局の請訓に對し日本電報局の閉鎖保管には不贊成にしてこの際日本電報局を接收すべしとの訓令を發しその旨回答があつた、よつて大鷹總領事は直ちに日本電報局の一方的接收は斷じて容認する能はず、萬一接收する場合はこれによつて生ずる事態の全責任を支那側が負ふべきである旨を嚴重申込んだが、支那側は邦人引揚げに乘じてわが電報局の不法乘取りを策してゐることが明瞭である

## 于學忠部隊 高密、膠州附近に

【青島四日發國通】于學忠部隊は高密、膠州附近に集結され稅警團と協力して膠東の防備を擔當することゝなつた、最近韓主席を濟南に訪問した葛鐵路局長の歸來談によれば于學忠は目下濟南において病氣療養中で意氣悄沈してゐると

## 白石、大磐角 兩砲臺砲擊

【臺北四日發國通】馬公要港部四日午前發表＝三日午前一時帝國〇〇艦〇隻は廈門港內に進入し白石砲臺飛行場、湖里山大磐角砲臺に猛烈なる砲擊を加へ敵に甚大の損害を與へたり、大磐角、白石兩砲臺より反擊せしもわれに損害なし

## 新政權成立を祝し 秋風に旗幟翩飜

### 平和鄕の察南風景

【張家口四日發國通】抗日を標榜して滿洲國邊境に事を構へ赤露と提携して東洋の平和を攪亂せんとしつゝあつた支那軍は正義と防共のため蹶然起つた察哈爾作戰軍のためひとたまりもなく察哈爾省外に擊破され、今や察南の地に支那軍一兵もなく全く平和鄕と化し、民衆の要望により新政權が樹立され、四日午後舊省政府大講堂において意義深い成立式典があげられやうとしてゐる、張家口の新舊市街の各官公署に掲げられてゐた青天白日旗は民衆の手によりぬりつぶされ、各所に添附されてゐた排日標語も剝ぎとられ、市內要所には察南自治政府成立祝賀の慶祝が幾つも樹てられ、民衆の要望による察南自治政府成立と墨痕鮮かに大書された幟が秋風にはためいてゐる、市民は新政權の樹立を喜び戶每に日章旗を揭げ又日の丸をはためかしつゝ式場に急ぐ、民衆もけふばかりは嬉しさうだ、張家口は擧げて歡喜と感激のどよめきのうちに樂土建設の第一步を踏出したのである

### 察南政權成立

【張家口四日發國通】察哈爾二百萬民衆の要望により成立した察南政權の成立式は四日正午より舊省政府講堂において盛大に擧行された

## 空爆に怯え

### 廣東飛行隊司令部 從化に移轉

【香港四日發國通】廣東軍飛行隊はわが海軍航空部隊の果敢なる爆擊に怯え種々對策を講じてゐたが、遂に一兩日前飛行隊司令部を從化（廣東北方約百キロ）に移轉し、密かに防空施設の強化に努めてゐることが判明した

## 滿洲の防空義金 四十萬圓を突破

【東京國通】滿洲國の防空施設の完備を目的とする滿洲防空協會では豫ねて在滿の日滿官民に呼びかけて義金募集中であつたが、同協會はさらに先日理事長星野直樹氏の名をもつてわが國の滿洲關係事業家その他に援助方を依賴して來たので、早速日滿實業協會が中心となつて義金募集運動を開始三井、三菱の各十五萬圓を筆頭に大倉組五萬圓、王子製紙三萬圓等三日までに四十一萬一千圓の醵出を受けたが、さらにこの運動の趣旨を各方面に大々的に徹底させ滿洲國防の完成に日滿一如の實を示すことゝなつた

## 察南の官民感激

### 植田軍司令官の寄附に

【張家口四日發國通】植田軍司令官は四日察南自治政府の成立を祝し災民救濟費として金一萬圓及び食糧品多數を寄附した、察南政府要人及び省民は司令官の好意に感激してゐる

## 天鎭東北占領

【張家口四日發國通】平綏線天鎭に向つて進擊中の田中部隊は四日拂曉天鎭東北高地を占領、日章旗を飜へした

## 懷安鎭を占領

【張家口四日發國通】察哈爾作戰軍は平綏線に沿ひ進擊中であつたが、長谷川部隊は一日懷安鎭および永嘉堡の堅壘に據つて頑強に抵抗する敵を擊破、完全にこれを占領した、同方面は秋色深く冷氣肌身に冷きも皇軍の士氣益す旺盛である

## 我皇軍の手足

### 第一線の滿鐵社員は元氣旺盛 總局佐久間技師語る

北支事變勃發と共に無電連絡の重要使命を帶びて勇躍北支に出動、或は蘆溝橋、永定門郞坊方面の戰鬪に、或は壯烈無比の南口攻擊戰に參加、絕へず最前線にあつて敵彈の雨と降る中をものともせず敢然として決死のキーをたゝき續け皇軍の作戰上に多大の貢獻をなした滿鐵無電技師佐久間誠一氏（卅一、總局勤務）は無事任務を果して四日歸奉したが、左の如く語つた

奉天をたつたのは七月十三日でそれから八月廿八日まで約一ケ月半同僚の技師二名、他に機關士、車掌等と共に無電車に乘込み各地の戰鬪には絕へず第一線に乘出してわが皇軍の勇しい奮鬪狀況を後方に報告するとゝもに、他の部隊との連絡に必死の努力を續けて來ましたが、何しろ乘つてゐる車は鋼鐵張りで、おまけに窓も少なくそれに百度の炎熱にさらされてゐるので車內の溫度は夜中でも車の近くで炸裂する敵彈よりもこの蒸せるやうな暑さが何よりの苦痛でした、私達はたゞ車の中に立籠つて無我夢中でキーをたゝきつゞけてゐたゝめ皇軍の華々しい活躍は直接見ることが出來ませんでしたが、わが軍の大勝を知つたときは思はず萬歲をさけび、あまりの嬉しさにキーをたゝく手のふるへるのをどうすることも出來ませんでした、なほ第一線における滿鐵社員は何れも元氣旺盛、皇軍の手となり足となつて目覺しい活躍を續けて居ります

## 大迫哈市副市長

新哈爾濱副市長大迫幸男氏は四日午後四時五分着列車で赴任滿官民の出迎裡に着哈、直ちに哈爾濱神社、忠靈塔參拜後ヤマトホテルに落付いた

## 人事往來

▲高橋康順氏（滿洲生命保險理事長）四日發大連へ
▲高岡又一郎氏（高岡組社長）同來京中央ホテル
▲杉本恒記氏（滿鐵）
▲土谷邊封氏（會社員）同向陽ホテル
▲加納芳三郎氏（辯護士）同
▲寺田鐵男氏（高岡組）同都ホテル
▲瓦服肇氏（官吏）同

## 偶語

七月三十一日暴戾支那軍に天誅を加へ八月一日には早くも天津自治委員會が設けられた▼爾來一ケ月餘にして同地の治安は日に確立し今まで閉鎖してゐた各商店は朗らかに門戶を開き▼小中學校も暑中休暇を終へ九月一日から平常通り開校した▼一方普き皇道の光被により支那民衆間に早くも日本研究熱が擡頭有識者間に日本雜誌を購入するものが漸へて來た▼北平では地方維持會が日本語會話のラヂオ放送をするほか商務會では日本語學校を設立各商店員に日本語を教授せしめており▼民衆に直接關係のある警察局では義務的に日本語を教授するといつた鹽梅で今まで軍閥の惡政から解放された北支の天地には皇道謳歌の聲が滿ちあふれてゐる▼この新興樂土を目あてに所謂一旗組の連中がいろいろのつてを求めて流れ込む數は相當に上る現況に鑑み▼當局では爾今同地旅行者には調査の上旅行許可證を下附することになつた▼一旗組の百害あつて一利なきことは滿洲建國當初に於て既に瞭かなるところ▼北支に限り前轍を履まざるやう斷々乎たる取締りが最も緊要である

## 松岡總裁上京

松岡滿鐵總裁は五日午前十時あじあで赴奉、六日奉天發旅客機で帝國人造燃料會社創立總會に出席のため上京、東京に向ふ豫定である

## 武部理事

武部滿鐵理事は四日午後二時十分發あじあで歸連した

## 山崎教授離京

日本學術協會の終了後北滿を視察中であつた京都帝大教授山崎直樹氏は四日午後二時着のあじあでハルビンから引かへし來京、同十分發歸國の途についた

## 駐日支那大使館附武官

【横濱國通】四日午前八時横濱出帆神戶經由香港に向つたカナダ太平洋汽船エムプレス・オブ・ルシア號で駐日支那大使館付海陸武官は本國政府よりの密命によりこつそり引揚げた

## 天津外人記者 西原大尉を惜む

【天津四日發國通】支那駐屯軍司令部附西原龍夫大尉は絕へず歐米新聞通信記者との連絡を密接にし常に好感を持たれてゐたが、今回〇〇分隊に轉補されたので歐米人記者十數名は殊のほか名殘りを惜しみ連名をもつて香月軍司令官に對し

西原大尉はわれわれと貴軍との緊密なる連絡の契なりその明徹な頭腦と識見に敬服してゐたもので、今回の轉任は私情として惜しいが榮轉のこと故同大尉の將來を祝福するとゝもに從來の勞を謝し同時に貴司令官にも謝意を表す

との感謝狀を寄せた

## 衆議院勅語奉答文

【東京國通】衆議院勅語奉答文

恭シク惟ルニ叡聖文武天皇陛下茲ニ臨時帝國議會ヲ召集シ車駕親臨ノ盛式ヲ擧ケサセラレ優渥ナル勅語ヲ賜フ臣等恐懼ノ至リニ勝ヘス惟フニ帝國ハ東洋平和ノ確立ニ邁往シ中華民國ト互ニ提携シテ其ノ任ニ當ラムトスルコト久シ然ルニ民國ハ帝國ノ誠意ヲ無視シ頻ニ事端ヲ刺戟シ遂ニ今次ノ事變ヲ起スニ至ル聖慮ノ鴻大ナル尚且之カ反省ヲ促シ東亞安定ノ速カナラムコトヲ望マセラレ國民ノ向フトコロヲ示サセ給フ臣等感激措カサルトコロナリ今ヤ陸海軍ハ北ニ南ニ連戰連勝シ克ク忠勇ヲ致シ國威ヲ顯揚ス是レ一ニ陛下ノ稜威ニ賴ラスンハアラス國民ハ擧ツテ堅忍持久以テ終局ノ目的ヲ達セサルヘカラス臣等愼重審議協贊ノ任ヲ竭シ上陛下ノ聖旨ニ對ヘ奉リ下國民ノ委託ニ酬イムコトヲ期ス衆議院議長臣小山松壽誠恐誠惶謹ミテ奏ス

## 聖旨を奉戴して 杉山陸相訓辭を發す

【東京國通】四日の開院式において賜りたる優渥なる勅語に感激せる杉山陸相は四日陸軍部內全般に對し聖旨を奉戴して國民の寄託に應へるやう嚴乎たる訓示を發したが、その要旨は左の如くである

一、帝國をめぐる現下の國際情勢はいよいよ混沌として一路惡化の傾向をたどり、その歸趨は又逆睹し難きの秋にあたり突如事變の勃發をみたり、しかも事態はいよいよ擴大し過去數次に亘り帝國が經驗したる事變とは全くその趣きを異にし、既に全國的に移行したるもののあることを深く覺悟するを要す

二、事態既に今日に至りては解決の鍵は一にかゝつて皇軍活動の成果に存す、よろしく解決の徹底と迅速化を圖り、いやしくも第三國をして乘ずるの間隙なからしむるを要す

三、戰線で幾十日彈雨の下、炎暑を冒し秋冷に耐えて軍に從ふ將兵の勞や洵に感謝に堪へざるものあるとゝもに、戰地における尊き犧牲に對しては哀惜眞に禁ずる能はざるものあり

四、全軍の將兵相携へてよく聖旨を奉戴して一意奉公の誠を致し、上は聖慮を安んじ奉るとゝもに、下は國民の寄託に應へ、併せて銃後の至誠に酬ゆるの覺悟を要する

## 米內海相 全海軍に訓辭

【東京國通】開院式において優渥なる勅語を賜つたので、米內海相は直ちに全海軍將士に聖旨を傳達すると同時に、午後二時半全海軍將兵に對し現下の事態に處する帝國海軍の重大なる責務を自覺しますます盡忠報國の念を固め、粉骨碎身誓つて聖旨に副ひ奉るの覺悟を訓示するところあつた

## 壯烈蒙古高原の花

察哈爾作戰兵團に屬する秀島機は二日午後二時大同攻擊に參加多大の成果を納めて歸還途中面朝溝（張北西方三十キロ）南方附近敵中地上に激突全員重傷を負ひ優勢なる敵の攻擊を受けつゝも勇敢に機關銃を以て應戰しつゝ遂に衆寡敵せず搭上者相次いで戰死せるを以つて秀島中佐は重傷の中自ら飛行機に火を放ち一同枕を並べて蒙古高原の華と散つた【寫眞は上より航空兵中佐秀島正夫（四二）同中尉堀直則（二八）同中尉羽根田勝信（二六）同曹長富永貞美（二七）同軍曹大島重人（二六）】

## 悲壯な戰死した 秀島機五勇士の略歷

南蒙古で秀島中佐と共に名譽の戰死をとげた

### 堀尙則中尉

本籍富山縣西礪波郡西太美村大字古川七村の出身、士官學校は四十四期生、昭和七年航空兵少尉任官と同時に所澤飛行學校分遣飛行第七聯隊付、同年十一月明野飛行學校卒業、同八年濱松部隊附を命ぜられ同時に〇〇爆擊學生として濱松飛行學校入學、同年十二月同校卒業昭和九年中尉現在に至つたが其間北滿各地の匪賊討伐、國境警備に任じてゐたが部下の信望を集め將來を囑望されてゐた、鄕里には令兄堀豐太郎氏がゐる

### 羽根田勝信中尉

本籍福島縣相馬郡中村町大字中村字大町七四一で四十九期生、昭和十年士官學校卒業、航空兵少尉任官、同十一年〇〇部隊付同十二年八月中尉任官、中尉は職務に熱心で新進將校として囑望され操縱が巧みで部下から非常に敬愛されてゐた、鄕里には父羽根田三省氏がゐる

### 富永貞美曹長

本籍、宮崎縣宮城郡生目村柏原九五八昭和六年兵、昭和九年下士官任官同十年所澤飛行學校卒業同十二年曹長任官現在に至つた、鄕里には父富永清氏がゐる

### 大島重人軍曹

本籍名古屋市南區豐田町海用先三、五五五で昭和七年兵同十年下士官任官、同十一年所澤航空學校卒業、同十一年軍曹現在に至る鄕里には父大島軍作氏がゐる

## 申譯ありません 充分奉公が出來ず

### 夫の戰死は豫ての覺悟 秀島夫人は語る

去る二日蒙古高原の空爆戰に部下四名とゝもに鬼神も泣く壯烈な名譽の戰死を遂げた秀島正夫中佐の留守宅〇〇〇〇の〇〇部隊官舍に四日博子夫人（三六）を訪れると、喪服姿の夫人は流石武人の妻らしく少しも取亂した樣子も見せずつゝましやかに

『軍人の妻として豫て覺悟はいたして居りました、戰地に行つて日淺く御國のため充分な御奉公の出來なかつた事は誠に申譯が御座いません、主人もさぞ殘念だつたらうと思ひます、戰死をした二日朝主人から『日頃の覺悟の如く充分な御奉公をする決心で元氣で活動をしてゐる』といふ便りが來て居ります』

と語つた、家庭には博子夫人との間に長男小學五年生俊行君（十三）長女同一年生美江さん（八ツ）次男正次君（四ツ）の二男一女があり、故中佐は日頃から酒も呑まず、花作りが何よりの趣味で、家庭では子供達のよき慈父であつた、なほ故秀島中佐は舊鍋島藩士の家に生れ、本籍は佐賀市水ケ江町十一番地大正四年步兵少尉任官、同八年中尉同年航空兵第二大隊附、同九年所澤飛行學校卒業と同時に航空本部々員、同十三年大尉同十四年航空兵科へ轉科、昭和八年少佐、同十二年三月中佐、その間航空檢查官、所澤明野兩飛行學校教官等を歷任し、資性豪膽にして操縱、機關ともに明るく典型的飛行將校として部下の尊敬を一身に集めてゐた

社説

## 臨時議會と現時局

一

今次事變が勃發したのは、日本に於いてちやうど昭和十三年度の豫算問題が論議の對象となり始めた頃であつた。事變は一躍して豫算を三十四億九百萬圓に膨脹せしめたのであつた。それはとりあへず事變費として五億二千六百六十萬圓が第一、第二追加豫算によつて計上されたからである。結城豫算二十八億―三億の增税と九億六千萬圓の公債消化にすでに準戰時體制への移行を覺悟せねばならなかつた日本の國民經濟として、この五億を超える事變費が何で賄はれるかといふことは一般の深甚な關心の對象であつたところでこの戰費の財源は結局甚だ簡單に一千八百五十萬圓を昭和十二年度第二豫備金に、一億二百萬圓を增税に、殘りの四億六百十萬圓を公債に仰ぐことに決定した。これが論議を超越して直ちに成立したのである。馬場豫算、結城豫算の頃深刻な議論が行はれたことを回顧すれば感慨深いものがある。

二

今や擴大した事變に對處し諸種の重要なる國策を決定すべき臨時議會が開かれてゐるそこではまた前回と同じやうな擧國一致のあらはれが見られるであらう。ただ注意すべきことは、國民經濟の問題に於いて困難なるものの存することを蔽ひ得ない現實の狀態であることである。それ故、國民經濟の受難打開には愈よ擧國一致が必要となつてゐるのであるとも言へる。膨脹財政は結局いつかは均衡に導かれねばこの時機もさほど遠くはあり得ない筈である。豫算の收縮が期待出來ぬ場合、豫算の均衡は巨額な增税に依賴せねばならぬ。國民の負擔力はこれに對してどういふ實狀にあるか。よく實際に即した長久の大策が樹てられることを望まなければならぬ。

三

さきの特別議會開會に際しも、議會が擧國一致の姿勢を示し難局突破の意氣込を示したことは頗る時宜に適つたものとされた。各政黨が政府の方針に協力するを惜まぬ態度を示したことは大いに好評を得た。ただそれとともに事變に藉口して國內改革の趨勢を緩める如きことは嚴に戒むべき所とされた。蓋し眞の民意暢達はかかる時局を切り拔けて國運の伸張を計るための要務たるものである。この時局認識に逆行するが如きことの無からんことを、現在に於いてもわれらは切望すべきである。今次臨時議會は會期も短く、そこで議題に上される案件もすでに決定的なものがある。しかしそれら議案に含まれてゐる意味は大なるものがありその今後に及ぼす影響も廣汎である筈である。注視もつてその成果を見やう。

# 聖上陛下の親臨を仰ぎ 議會開院式擧行さる

【東京國通】支那事變による非常時局に關し三日成立した第七十二臨時議會の開院式は四日午前十一時貴族院において行はせられた、この日兩院議員は車駕親臨の光榮に輝くうちにも時局反映の緊張味を見せる、天皇陛下には陸軍禮式御正裝にて午前十一時諸員最敬禮裡に玉座に着かせ給ひ近衞首相は勅語書を拜し御前に參進して恭々しく奉れば陛下には御手にとらせ給ひ玉音嚴かに優渥なる勅語を賜はつた、ことに滯りなく御儀を終へさせられ陛下には同十五分議事堂御出門天機麗はしく宮城に還御遊ばされた

## 議會開院勅語

【東京國通】第七十二臨時議會開院式に賜りたる勅語は左の如くである、畏くも天皇陛下には時局を深く御軫念遊ばされ今回の聖詔は特に明鑑を垂れさせ給うたもので、御異例と拜察され畏き極みである

勅語

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト中華民國トノ提携協力ニ依リ東亞ノ安定ヲ確保シ以テ共榮ノ實ヲ擧クルハ是レ朕カ夙夜軫念措カサル所ナリ中華民國深ク帝國ノ眞意ヲ解セス濫リニ事ヲ構ヘ遂ニ今次ノ事變ヲ見ルニ至ル朕之ヲ憾トス今ヤ朕カ軍人ハ百艱ヲ排シテ其ノ忠勇ヲ致シツツアリ是レ一ニ中華民國ノ反省ヲ促シ速カニ東亞ノ平和ヲ確立セムトスルニ外ナラス

朕ハ帝國臣民カ今日ノ時局ニ鑑ミ忠誠公ニ奉シ和協心ヲ一ニシ贊襄以テ所期ノ目的ヲ達成セムコトヲ望ム

朕ハ國務大臣ニ命シテ特ニ時局ニ關シ緊急ナル追加豫算案及法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ努メヨ

御名御璽

昭和十年九月四日

各國務大臣副署

## 近衞首相謹話

【東京國通】近衞首相謹話

本日の開院式に當り時局に鑑み特に優渥なる勅語を拜しましたことは洵に感激の至りに堪へません、今次の事變に對する御軫念の程を拜察いたしまして眞に恐懼いたして居る次第であります、われわれ臣民は戰場にたつもたゝぬも皆その職分に恪遵して勅語に仰せられました如く忠誠公に奉じ、和協心を一にして奮闘努力し宸襟を安んじ奉らねばならぬと思ひます

# 人民の困苦救濟に モラトリアム施行

## 察哈爾作戰軍司令官佈告

【張家口二日發國通】日本軍司令官は今回の事變において察哈爾省民の蒙つた被害につき種々對策を考究中であつたが、多數良民の困苦を考慮し未だ曾つて世界戰史にみざるところの占領地におけるモラトリアムを施行することゝなり、卅一日左の如き佈告をなした

支拂猶豫令佈告

日本軍は今回の事變による人民の被害を洞察し惻隱の情に堪へず、即ち本職は多數良民の艱苦を慮りこゝに支拂猶豫令を施行す

一、日本軍占據地方人民の人心安定し信用恢復するに至る期間

二、昭和十二年八月廿七日の日本軍占據以前における金錢債權に限る

三、無利息をもつて一切の支拂を猶豫することを得せしむるものとす

四、以上は本地方の自治機關成立後において本令を引繼ぎ、特に多數人民の勞銀、俸給、公共機關の費用などは他に率先して解除せしむるものとす

希くは日本軍占據地方人民その生活に安んじ本地方自治の道を速かに確立し日本軍仁政の意の存するところを諒とせよ

昭和十二年八月三十日

察哈爾作戰軍司令官

# 支那有識者間に ソ支條約反對論

## 容共政策非難さる

【上海四日發國通】ソ支不可侵條約に對し支那朝野有識者間には政治社會組織を異にする他國との條約の締結などは將來尠からざる禍根を殘すものであるとの見解の下に反對非難を加へる者尠からず、且つまた一部外人間においても政府が窮餘の一策としてソ聯と握手せざるを得なくなつた理由の一部分は認め得るも南京政府の動向が容共的に傾きつゝある證左とすれば反つて同情を失ふ結果を招來するであらうと反對的態度を示す向もあり三日夜なされた南京政府代辯者談はこれ等不可侵條約反對論に對し南京政府の動向が容共にあらざる旨を說いて表面釋明の態度をとつたものと解されてゐる

## 南京政府辯明 非公式に聲明發表

【上海四日發國通】南京政府は政府法律顧問談の形式をもつて今回のソ支不可侵條約につき非公式聲明を左の如く發表した

本條約が支那の領土保全については言及せず、且つ中國現在の政治社會制度を毀損するといふが如き外國の宣傳に對し保障をなせとの國內的非難については、今回の條約第三條がかゝることは全く杞憂に過ぎないことを明瞭にしてゐる、第三條は今回の協定によつて從來のソ支間の條約が何等無效にされないと規定されてゐるが、從來ソ支間の諸條約とは一九二四年三月卅一日調印のソ支協定あるのみ……に反することを約す旨規定されてゐる、この二ケ條を含む一九二四年の條約が今なほ有效なのであるから、前記の心配は今回のソ支不可侵條約に對する非難とならざるべし

# 米は如何なる國とも共同動作をとらず ハル長官記者團に聲明

【ワシントン三日發國通】ビンガム大使の歸米を機として極東問題につき英米共同動作の具體的方法が確立したとの報道が一部新聞で行はれてゐるが、ハル國務長官は三日新聞記者團との定例會見で重ねて聲明した

米國政府は極東問題に關して如何なる國とも共同動作をとらず、如何なる場合にも獨自且つ別個の政策を遂行する方針である、勿論各國共同の利害に觸れた問題も起るべくその場合相互に商議し情報を交換し、或は互に對案を示唆することはあらうが米國政府は飽くまで行動の自由を留保し紛糾にまき込まれぬことを期する積りである、ビンガム大使の歸國につき種々取沙汰があるやうだが極東問題と何等關係はない

## 國民大會の皇軍慰問團天津着

【天津三日發國通】滿洲國々民大會の皇軍慰問代表一行十三名は協和會中央本部松川指導官の案內で二日午後五時天津着、三日朝天津軍司令部を訪問、香月軍司令官並びに參謀長と會見慰問の辭を述べた後戰跡視察をなし、明四日靜海の戰線に皇軍を慰問、五日天津發北平に向ひ六日北平附近戰跡を視察、七日長辛店に向ひ八日北平に歸還、九日北平發天津に歸着、十日余旅程を終了天津發歸滿の途につくことゝなつた

【天津三日發國通】滿洲帝國北支派遣皇軍慰問團は三日正午天津において左の如くステートメントを發表した

□

北支民衆諸君、私共は滿洲帝國協和會の推薦により大日本帝國皇軍慰問使として來たのであります、この機會に臨み私共の率直な感想をお傳へしたいと思ひます、こちらに參りまして第一に感じますことはわが滿洲國建國當初の苦しみであります、この苦しみの原因は日本の眞意が奈邊にあるかの疑問でありまして、これは無理もないことで、かつて吾々の耳目に觸れたものは悉く排日的なもので、日本の美點、長所が一切抹殺されて居りました、しかし建國五ケ年の間吾々は過去の日本觀と全く反對の現象を經驗し、今や王道樂土の建設にいそしんで居ります、この五ケ年の間特筆すべきは康德皇帝陛下の御登極を始めとして幣制が安定、種々雜多な通貨が全く影を潜め、軍閥時代の殘弊がなくなり、陛下の御統帥あそばされる國軍が强化せられ、國家運營は豫算決算によつて明示されてをります、從つて税も輕減され國家機構は全く整ひ地方制度も近く實施せられんとしてをること等であります、しかして官も民衆も協和會の機構によつて全國民的に導行せられ國民黨もなければ藍衣社もC・C團もありません、僅か五ケ年間にしてかゝる一大國家の建設をなし得た例は歷史上未だないことゝ信じます、この根底をなすものは一に民族協和の精神に基いてをります、いふ迄もなく淸朝以來排他排外によつて中國の得たものは何んであつたか、皆樣はよく御存知と信じます、時の爲政者が自己の缺陷を隱蔽するため民衆の注目を外に向けさせた欺瞞政策から潔よく斷絶して眞に中華北部五省の獨立政權を樹立しわが滿洲國とゝもに友邦日本と協力して東亞安定、東亞民衆の樂土建設に邁進せられんことを切望するものであります

## 日滿支提携に努む

### 高委員長協和會代表に言明

【天津四日發國通】滿洲國協和會代表一行は三日午後六時から一時間に亘り天津治安維持會高凌霨氏を訪問、滿洲國の實狀を詳さに說明友邦日本の指導援助により王道樂土の建設に成功せることを述べたこれに對し高委員長も日滿支提携の必要を次の如く述べた

吾々は東亞のため盡したいことを誓ふと共に更に滿洲國に見習つて行きたいと思ふ、從來支那の役所では政權をとるものは自分の私腹を肥やしてゐた、かゝることは斷然排斥して明朗政治を布きたいと思ふ、尤も日本は滿洲で試驗ずみだから北支の指導には好都合だと思ふ、吾々は何處までも日本を信賴して行く決意だ

治安維持會は本日午後の常務委員會において徵税機關並に財政管理機關として財務總管理處を設置することに決定した

# 日獨協定一周年機に 國交强化運動促進

## 民間有志の會合で宣言可決

【東京國通】日獨防共協定は來る十一月をもつて締結第一周年を迎へることになつたがその間民間有志の間では政府の方針に協力、同協定を强化して日獨兩國の國交關係を一層緊密ならしめんとする運動が續けられ、去る五月以來民間有志の間に種々下相談が行はれてゐたが、いよいよ機運が熟したので三日午後三時丸の內會館に頭山滿翁、德富猪一郎、小原直、緒方竹虎、田中都吉、中村房次郎、中野正剛、野間淸治、矢野恒六、山田久治郎、小坂順造、後藤文夫、小泉又次郎、安保淸種男、光永星郎、上田碩三の諸氏會合し特に多田參謀次長、眞奈木中佐、安井文相、水野督學官、海軍省普及部長野田少將、東鄉歐亞局長達も出席し、種々意見を交換した後左の宣言を可決し、さらにこの趣旨を徹底せしむるため實行委員をあげることゝして五時散會した

宣言

共產主義はその理論に於て天理人道に背反するのみならず、その實行に於て國家を顚覆し、社會を攪亂し、家庭を破壞し、實に現代に於る世界の一大呪咀にして一大害惡である、これ故に吾等は昭和十一年十一月わが帝國政府が獨逸國と防共協定を締結したるを以て誠にその機宜を得たる措置であると確信した、然るに爾來殆ど一年に垂んとするも未だその趣旨が中外に貫徹せざるは遺憾とする所である、特に支那事件の眞相を洞察するものは支那國民と政府の背後には實にこの共產主義を標榜するコミンテルンの存在することを看取し、如何にわが日本帝國が共產主義國體と正面衝突を策しつゝあるかを痛感せざる者はあるまい、よつて我等は日獨防共協定締結の大精神を明にし、更にこれを實行の上に强調するを以て最もわが國家經綸の上に於て最大の急務なることを認め、こゝにその所信を明白にしてこれを天下同感の諸君各位に告ぐ

## 貿易關係業者に 興銀特別融資を開始

【東京國通】支那事變による輸出停頓のため大藏省ではこれ等貿易關係業者に對する金融疎通を圖ることゝなり興銀との間に協議を進めてゐたが興銀の倉庫證券擔保手形再割引および商工中央金庫の融資の二方法により近く融資を開始するに決し三日その旨大藏省から發表された

# 支那方面旅行並に移住者の 取締規則公布

支那方面旅行並に移住者の取締りに關し在新京日本總領事館では五日付館令を以て別項の通り支那方面旅行移住者取締規則を公布した、なほ身分證明書願書樣式は所轄警察署に問合せられ度い

第一條　業務上家事上又は其の他の必要の爲め支那方面に旅行又は移住せんとするものは住所地所轄警察署に別紙（旅行せんとするに在りては第一號移住せんとする者に在りては第二號）樣式の願書二通を提出し必要の證明を受け之を携行すべし

但し軍關係者に在りては憲兵隊に於て其の規定する所に依り手續すべきものとす

第二條　前條の身分證明書は大連、營口、安東、葫蘆島其の他の港灣若くは海岸より乘船の際又は國境通過の際取締官憲に之を提示すべし

第三條　前各條の規定又は之に基く命令に違背したる者は五十圓以下の罰金、拘留若は科料に處す

第四條　正規の服裝を着用したる軍人、軍屬及警察官（日本人にして滿洲國の軍人、軍屬及警察官たる者を含む）に對しては本規則を適用せず官公吏（日本人にして滿洲國の官公吏たる者を含む）協和會職員並に南滿洲鐵道株式會社、鐵道總局、滿洲電信電話株式會社、滿洲電業公司、滿洲航空株式會社、大同公司、興中公司其の他特に指定せらるることあるべき法人の職員又は從業員及其家族にして別紙第一號又は第二號樣式に準じ發給せられたる身分證明書を携帶する者に付亦同じ

附則

本令は公布の日より之を施行す

昭和十二年九月五日

在新京　總領事代理　柴崎白尾

右に關し總領事館當局は左の通り語つてゐる

北支事變發生以來不良邦人（內鮮人）か支那各方面に入込み種々國策に反する不穩行動を爲すもの增加する傾向があつたので之を嚴重取締ることゝなり今般駐滿全權大使の訓令に基づいて別項の樣な取締規則を公布したのであるが之は時局柄無職不良分子の支那各方面への流入を阻止する御旨に出たもので業務上家事上其の他必要の場合は旅行移住共に爲し得るのであるから詳細は別項館令に據り克く承知して所轄警察官署の證明を受け携行され度いと

## 粤漢鐵道 軍需品輸送で增發

【香港三日發國通】粤漢線鐵路は從來一週三回の急行列車を運轉してゐたが、最近軍需品旅客の輸送に間に合はず、これを增加して毎日一回運轉することに決定近く實施することゝなつた、なほ廣九鐵道は二日の颱風で途中の鐵道破壞され復舊までに十日餘を要するとのことである

## 日本軍の正義を讃へて 一英人が獻金

【東京國通】三日海軍省副官のもとに邦文の手紙に五十圓を添へて送つて來た英人船長夫人があつた、これは橫濱のミセス・エフ・ハワードといふ婦人でその手紙には支那兵の暴虐無類の行爲に憤激し勇敢正義の日本軍を激賞した夫君の手紙が添へてあつたその全文は

私は長年東洋に在住してゐるキャプテン・タムス・アレキサンダー・ハワード（英國人）でありますが（目下航行中）昭和七年の上海事變當時同地に居住してをりまして支那兵の暴虐無殘な行爲にひきかへ御國の軍隊の行動が正義に則り公明正大勇敢無比なのを目のあたりに見まして思はず讃嘆の聲を放つた一人でありますそれ以來同じ東洋にゐるなれば安住の地は日本の國であると確信いたし只今は橫濱に在住してゐる次第です、しかるに今回又復暴戾なる支那軍の不法行爲によつて上海は再び戰火の巷と化し御國の正義の行動となり勇壯鬼神をも泣かす奮闘にひたすら感嘆してゐる次第です、つきましては甚だ輕少ですが同封の金五十圓上海方面で御活躍の海軍將士の方々に御慰問の一端にもと差上げます、どうぞ御受取下さい

# 民間航空の大擴充 五ケ年計畫樹立

## 永井遞相關係當局と折衝中

【東京國通】永井遞相は就任以來航空國策確立を期し明年度豫算編成に當つて民間航空行政および施設の積極的大擴充を意圖し陸海軍當局、大藏省および文部省などの關係各省と緊密な連繫を保つて目下具體的折衝を行つてゐるが、遞信當局の原案たる所謂「永井航空」の內容は從來の航空試驗施設、飛行機および發動機の試作奬勵その他の豫算額を全面的に增額させるほか操縱士の大量養成、飛行場の擴充及び中央航空試驗所の整備の三項目を根幹とするもので五ケ年總豫算額二億四、五千萬圓に達する航空五ケ年計畫である、右のうち操縱士の養成は三ケ年間に約五千名を訓練する豫定である、さらに飛行場の增設は全國府縣に一ケ所づゝ合計約五十ケ所を目標に開設する方針であるが、右の民間航空擴充五ケ年計畫は目下躍進途上にある航空機關係工業に非常な活氣を與へるものとして極めて注目されてゐる

## 度重なる汽船撃沈に ソ聯激昂

【モスクワ三日發國通】さる一日地中海西部におけるソヴイエト汽船チミリアゼフ號（二一五一噸）撃沈事件に引續き二日さらにギリシヤ近海においてブラゴエフ號（三一〇〇噸）が某國潛水艦に撃沈されたとの報道はソヴイエト政府ならびに一般大衆に多大の衝撃を與へ各地の工場、勞働組合、共營農場その他においては一齊に職場大會を開き政府および共產黨に對し强硬抗議方を要求してゐる、ソヴイエト各新聞紙も全紙面をあげて撃沈事件に憤激し就中イズヴエスチア紙のごときはファシスト海賊同盟にかゝる暴戾行爲がそのまゝすむと思つたら大問題だと知らしめよといきまいてゐる、今までのところ責任國の名は未だどの新聞にも明示してゐないがイタリー潛水艦の仕業であることは誰も疑つてゐない

## ムソリーニ首相 ヒ總統訪問か

### ドイツ政府確認す

【ベルリン三日發國通】ドイツ政府は三日午後左の公式コムミユニケを發表してムソリーニ首相のドイツ訪問を確認した

イタリー首相ムソリーニ氏はヒトラー總統の招請を受諾し九月下旬ドイツを訪問しヒトラー總統と會見することゝなつた

## クーベルタン男急逝

【ジユネーブ二日發國通】近代オリンピツクの創始者ベルド・クーベルタン男は二日夕刻ジユネーブの公園を散策中突如腦溢血で倒れ急逝した享年七十五

## 鮮魚小賣相場（九月四日）

| 品名 | 最高 | 最低 |
|---|---|---|
| 活鯛 | 五〇 | 五七 |
| 氷鯛 | 四二 | 三〇 |

| 品名 | 最高 | 最低 |
|---|---|---|
| 中小鯛 | 五三 | 三四 |
| コロ鯛 | … | … |
| チヌ鯛 | 三〇 | 二七 |
| 連子鯛 | … | … |
| イセエビ | 六〇 | … |
| 車エビ | 七〇 | 五〇 |
| 白サエビ | 五五 | … |
| 小エビ | 五〇 | 四二 |
| 小スマ | … | … |
| マグロ | … | … |
| ブリ | … | … |
| メジロ | … | … |
| ヤズ | 二五 | … |
| ヒラス | 四七 | 三一 |
| マナ | 三四 | … |
| サワラ | 三四 | 二五 |
| 平サワラ | 一五 | … |
| マス | 三六 | 三三 |
| サケ | 三五 | … |
| スズキ | 二五 | 二二 |
| 小アジ | 二七 | 一六 |
| ニベ | 二四 | 二二 |
| アジ | … | … |
| サメ | 二二 | 一五 |
| 赤ムツ | … | … |
| ギザミ | … | … |
| アコウ | … | … |
| メバル | … | … |

| 品名 | 最高 | 最低 |
|---|---|---|
| アブラメ | [illegible] | [illegible] |
| ボラ | [illegible] | [illegible] |
| スクチ | [illegible] | [illegible] |
| タコ | [illegible] | [illegible] |
| 甲イカ | [illegible] | [illegible] |
| ヒラメ | [illegible] | [illegible] |
| ヒイラ | [illegible] | [illegible] |
| カレイ | [illegible] | [illegible] |
| 目高カレイ | [illegible] | [illegible] |
| 小シイラ | [illegible] | [illegible] |
| グチ | [illegible] | [illegible] |
| 市 | [illegible] | [illegible] |
| イワシ | [illegible] | [illegible] |
| ハゲ | [illegible] | [illegible] |
| ボーボー | [illegible] | [illegible] |
| カナガシラ | [illegible] | [illegible] |
| コノシロ | [illegible] | [illegible] |
| ツナシ | [illegible] | [illegible] |
| 連長 | [illegible] | [illegible] |
| コチ | [illegible] | [illegible] |
| オコゼ | [illegible] | [illegible] |
| シンラ | [illegible] | [illegible] |
| サンマ | [illegible] | [illegible] |
| 太刀魚 | [illegible] | [illegible] |
| キス | [illegible] | [illegible] |
| サヨリ | [illegible] | [illegible] |
| アナゴ | [illegible] | [illegible] |
| ハモ | [illegible] | [illegible] |
| ハゼ | [illegible] | [illegible] |
| フカ | [illegible] | [illegible] |
| 赤エイ | [illegible] | [illegible] |
| アユ | [illegible] | [illegible] |
| 白魚 | [illegible] | [illegible] |
| ウナギ | [illegible] | [illegible] |
| ドジョウ | [illegible] | [illegible] |
| アワビ | [illegible] | [illegible] |
| 貝柱 | [illegible] | [illegible] |
| 剥身 | [illegible] | [illegible] |
| 赤貝 | [illegible] | [illegible] |
| 蜆貝 | [illegible] | [illegible] |
| ハマグリ | [illegible] | [illegible] |
| カニ | [illegible] | [illegible] |
| 鹽マス | [illegible] | [illegible] |
| モツク | [illegible] | [illegible] |
| オバ | [illegible] | [illegible] |
| 冷イカ | 二〇 | 一五 |
| （切り身相場）鰤木 | 一、〇〇 | 四五 |
| ブリ | … | … |
| ヒラス | 九〇 | 六五 |
| マス | 六〇 | 五五 |
| サケ | 六〇 | … |
| サワラ | 五六 | 四三 |
| スズキ | 五五 | 四二 |
| ムベ | 四五 | 四〇 |
| ヒラメ | 〇〇 | 二二 |
| 水蛸 | … | … |

手形交換高（四日）二〇二枚　二七九、二七六、五五

# 農作物病虫被害に 徹底的防除對策

## ……實業部積極的に乘出す

滿洲國における全農作物の病虫被害は例年二割乃至二割五分の高率に上り、金額に計算して約一億五千萬圓の巨額に達し、病虫害に對する農民層の無智識と防除施設および研究機關の絶無のため漸次被害額の激增を來さんとする勢ひにあり、これを現狀のまゝ放置せば農産物の增産計畫に重大なる支障を來す虞があるため產業部はこれ等病虫害に對する徹底的驅除對策に乘出すことになつた、このためさきに內地より應用昆虫學の大家現北海道廳技師北海道帝大講師農學博士桑山覺氏を招聘し全滿の農作物害虫分布相および被害狀況の基本調査をなさしめたが、同博士は八月十日來滿、十一日より廿日間にわたり東北滿農業地帶および瓦房店にわたり調査視察の後九月一日歸京、二日日滿軍人會館において關東軍、產業部、企畫處、林野局、滿鐵その他各種農事試驗場の關係者多數出席の上調査報告をなしたが產業部では取敢へず同博士の調査報告に基いて可及的速かに簡單なる防除對策を講じ追つて同氏の報告書提出を俟つて根本的防除方針を樹立し、農作物病蟲害に對する徹底的驅除對策に乘り出すことになつたのである、すなはち山海關、滿洲里、安東、大連その他の輸入地帶に新たに植物檢査所を設置して輸入物資によつて運ばれる病蟲を取締り、更に國內對策として各縣に模範村を整備し防除官吏を配置せしめて直接防除指導に當らしめる方法等が考慮されてゐるが、取敢へず明年度よりまづ移民地に對して試驗的驅除對策を試み漸次全滿の農民層に病虫害に關する智識を普及せしめ適當な手段をとらんとするものである

## 間島省の農作 一般に良好

本年の農産は一般に良好で各方面から期待されてゐるが、間島省公署實業科の調査によれば一般の農作物は平年以上二、三割の增收見込であるが蔬菜は平年に增しての不作で二三割の減收が豫想され、今秋の蔬菜市場は相當高値になる模樣

# 全滿省次長會議に於る 張總理、星野長官訓示

全滿省次長會議は四日より二日間に亙り國務院に於て開催され中央より張總理以下各部大臣、星野、大橋、大津、各長官、各部次長出席、地方より竹內奉天、三谷吉林、神屋龍江、結城錦江、中野熱河（代理）、平島錦州、別宮安東、江原間島、松田三江、田村通化、宇山牡丹江、手島黑河各次長、山口興安東、中村同南、河內同北、都間同西各參與官、關屋副市長、關口首都警察副總監等出席張總理及び星野總務長官の訓詞は左の通りである

### 國務總理訓示

本日茲に省長會議を開催し親しく各位と一堂に相會するの機に當り一言所懷を述ぶるの機會を得ましたことは本官の最も欣快とする所であります

我盟邦日本と隣邦支那との間に起れる紛爭は遂に兩國軍隊の衝突となり東亞の天地に事變からんとする今日各位の參集を煩はして會議を開催しました所以は外でもありません、政府は曩に省長會議を開催して時局に對する政府の態度方針を開示し省長を通じて國民一般の認識と理解とを深むるに資せしめたのでありますが更に其の徹底を圖ると共に中央地方官民朝野一致して固き結束の下に時局に對處せんが爲各位の協力を求めんと欲するからであります。惟ふに國政の本は民に在り施政の要諦は民の心を心として行政の運用に當り彼に其の倚る所を與ふると共に之を指導誘掖して其の進むべき途を明にするにあります、固より中央に職を奉ずる者と雖も常に此の心掛を忘れてはならないのでありますが殊に地方に在りては直接民衆と接觸するの地位にある者は常住坐臥思を玆に致して努めなければならないのであります、今や東亞に風雲荒く時局益々多難ならんとする折柄民衆指導の任にある者の職責は愈よ重大を加へ其の再思三省を求むること切なるものがあるのであります。時局發生以來本總理大臣は或は談話の形式を以て或は聲明の發表によつて政府の見解を明にし尙事態に即應せる各種の具體的指示も必要の都度之を訓達し來つた次第であります、更に各部大臣に於きましても夫々或は適切なる佈告を發し或は機宜を得たる命令を發布して時局に對處すべき必要なる方策を講じたのでありますが既に之等に付ては各位も亦政府の意圖を體して省長を補けて其の徹底に當られつゝあると信ずるものであります、又政府が時局に關して國民の留意を求めたき諸點に付ても曩に開催したる省長會議を通じて既に聞及ばれたことと考へます、從て本席に於ては特に事新しく述ぶべきものはないのでありますが更に一層の徹底と其のより多き效果を期待する意味に於て玆に簡單乍ら再言して見たいと思ひます。

今回の事變の眞相と意義とを明確に認識すると共に東亞に於ける我滿洲國の地位を充分に自覺せられたきことであります、今次の事變は言ふ迄もなく東洋道德の何たるかを忘れ赤化の魔手に踊らされ民を泥土に委して顧みず私利に耽り權慾に汲々たる南京政府と其の下にある無統制なる軍隊の暴戾不遜なる挑戰行爲によつて齎されたるものであります。當初盟邦日本は東洋平和維持の爲不擴大方針を堅持し出來得る限り時局の圓滿解決を庶幾したのでありますが民國政權の無反省なる敵對行爲は遂に日本をして南京政府膺懲の師を起すの止むなきに立ち到らしめたのでありまして誠に我々の遺憾に堪えない所であります。熟々隣邦民國の內情を檢するに聯露容共政策の結果其の政權及軍隊は逐日赤鬼の侵蝕する所となり隣國同胞の運命は時々刻々惡虐無道の魔手に掩ひ盡されんと致して居るのであります、政府既に其の侵蝕を擊退すべき勢力を喪ひ民人亦此の煉獄の苦より免るべき方途を失へる慘狀は正義を信奉し民生を念願する者の實に坐視するに忍びざる所でありまして更に此が際涯なき漫延の危險性に鑑みて暴戾なる赤鬼勢力の防遏擊滅は啻に日滿支三國の康寧の發展の爲のみならず延いては東洋平和の爲更には世界平和擁護の爲止まんと欲するも止む能はざる正義の要請であります、今次日本軍の奮起したる所以實に玆に存するのであります。が日本國と精神一體不可分の關係に在る我が滿洲國は固より此の正義の信念に於ても同一無二、徹底的に日本國を支援するの決意を有してゐるのでありまして畏くも皇帝陛下におかせられては日本國天皇陛下に御親電を發せられ「朕當に滿洲全國民を統率し貴國と完全に協力して兩國精神一體の眞義を發揚すべし」と宣せられたのであります、宜しく官民は此の根本大義を體得し義戰參畫の光榮を自覺して千辛萬苦を排し以て日滿一德一心の眞髓を發揚することに義勇奉公の誠を盡さねばなりません事變の其の後の經過發展を見ますると正義の前に敵なしの言葉はまざまざと我々の眼前に具現化せり、正義の大旆をかざして進む日本軍隊の前には不落を誇る堅城も忽ちにして潰え暴虐なる支那民衆は喜悅して之を迎ふの報道を聞くのであります。此の百萬言に優つて雄辯なる實例を見るとき我々は我滿洲國建國の大業を顧みて其の正義の基礎の上に王道精神を旨とし民族協和の樂土を建設せんとする精進努力を思ふとき茲に言ひ知れぬ力强さを感ずる次第であります。尙我滿洲國軍の一部が既に兩協同防衛の本旨に則り我西疆に出動して日本軍と共に民國軍隊を擊破せる事實は各位のよく承知せらるる所であります、其他各地に於ける熱烈なる國民大會の開催或は我官民より寄する日本軍隊に對する各種の赤誠披瀝の實例を聞くのでありまして誠に同慶の事に存ずる次第であります、願くば各位に於ては叙上國家の決意の存する所を了得せられ益々治安の確保民心の安定に遺憾なき措置を講じらるると共に國民に對する右信念の扶植透徹に萬全の努力を傾倒されて以て人民指導の大任を果されんことを切望して已まざる次第であります。（寫眞は張總理大臣）

### 總務長官訓示

唯今國務總理大臣より本回省次長會議を開催するに至れる所以を述べられ時局に對する國家の決意を開示せられたのでありますが重ねて本官よりも以下時局に對して政府の執らんとする方針に付所懷の一端を披瀝したいと思ひます

曩に政府は我國を繞る國際情勢に對應する爲產業開發五ヶ年計畫を樹立し次いで行政機構の大改革を斷行し玆に國防的國家の態勢を整備して大いに國力の增强を企圖致したのでありますが偶々今次事變の起るに遭ひ更に益々之が實現の促進を圖るの要に迫られて居るのであります

今や隣邦民國政府の頑冥不靈は世界平和に對する破壞的勢力の乘ずる所となり其の進出跋扈を見るに至り遂に盟邦日本帝國は之を默過するに忍びず玆に利害を超越して正義人道の爲大乘的義軍を起し官民朝野擧國一致時艱克服の重大決意を示して居るのであります、而して右民國の今日の事態は我が滿洲國に於ても其の建國の使命に照し片時も許容し得ざる所でありますので畏くも我皇帝陛下におかせられては頃日日本天皇陛下に對し奉り御親電を以て日本と絕對的協力の叡思を陳べさせられ我滿洲國の向ふ所を明示せられたのであります、即ち時局に對し政府の執るべき態度に關しては右御親電に盡きて居るのでありますが若干之を敷衍致しますれば

其の第一は民心の統一であります、建國以來民族協和の大旆の下に國民的結合を圖ること五星霜漸次其の成果に見るべきものあり、現下の時局に對しても國民の大勢は政府の宣示するに遵せ友邦日本軍の武威に信頼し安定の狀態を示して居るのでありますが飜つて不逞徒輩の使嗾に輕擧騷擾を惹起する者なきにしもあらざるのでありまして精神動員の工作に付ては一段の努力を傾注し國民に對し我國の確固不拔の信念を透徹せしめ以て先づ精神的に日滿共同防衛の眞義を發揚しなければならないと思料するのであります

第二は日滿經濟一體の基礎の上に產業經濟の飛躍的增强を圖り以て日本國の必要とする資材の供給を圓滑ならしむることであります、之が爲政府は先づ既定の產業開發五ヶ年計畫に付凡有る困難を排除して之が實現を期せんとするものであります、併し乍ら時局の影響する所資金の供給等に付て頗大なる困難を覺悟せねばならぬと考へらるるのでありまして此の際我々は一方に於て朝野心を協せて國內各種費用の節約を勵行すると共に他方大いに國內資金の合理的運用を圖り極力資源開發の必要を充足してゆかなければならないのであります、從つて財政計畫に於ても冗費は之を廢し不急の經費は之を繰延べ時局に伴ふ緊要施設に全力を集中し以て簡素にして强力なる行政の運營により日本の經濟的共同防衛の眞髓の具現を期したいと念慮致すのであります

第三は事變に對して轉禍爲福の大勇猛心を振起することであります前にも述べました如く今次の事變により我國の國力增强計畫は一大難礁に遭遇したのでありますが最近の國際政局は次いで新なる重大危局の襲來避け難きを思はしめるのでありまして單に目下の時艱克服を企圖するに止まらず更に時局對策の最終目標を次に來るべき大變局に對する準備の充實に指向して以て時艱克服の成果として國力の飛躍的增强を期したいと祈求致すのであります。

要之に現下時局の對策は過去五ヶ年間に整備し得たる國防國家的態勢の運營により日滿共同防衛の大義を物心兩方面に亙りて强行すると共に更に進んで人的物的全資源の國防目的達成の爲にする統制運用に關する計畫を速に實現することに存するのであります各位は宜しく聖意を奉體して叙上政府の方針に準據して部下官吏の統率に宜しきを期し目下の天災事變による一切の艱難を排し上下一致義勇奉公の範を示すと共に國民に對し政府の所信を明にし以て全國民協力一致の實を擧げんことを切に望む次第であります。【寫眞は星野總務長官】

## 橋本博士歸京

天津に活躍中の十河興中公司社長の健康勝れざるため之が診察に天津に赴いてゐた市立醫院內科部醫長橋本博士は三日午後八時四十五分着列車にて歸京した

# 東京六大學野球 秋のリーグ戰

## ファン待望裡に絢爛の開幕

雄姿颯爽たる新人を加へて東京六大學秋季野球リーグ戰は全國ファン待望のうちに四日帝明、立早一回戰をトップに白熱戰の火蓋が切られた、これに先だちリーグ理事會に於て日取りを左の如く決定しメンバーの交換を行つたが日程並に本秋のメンバーは左の通りである

### リーグ戰日割

◇九月四日…▽帝大―明大（三谷、西村、長澤、辻）▽立教―早大（藤田、角田、齋藤、松井）

◇五日…▽早大―立教（三谷、齋藤、長澤、角田）▽明大―帝大（藤田、辻、西村、三谷）

◇十一日…▽法政―慶應（角田、松井、齋藤、關口）▽帝大―早大（三谷、長澤、辻、藤田）

◇十二日…▽早大―帝大（三谷、辻、藤田、角田）▽法政―慶應（關口、齋藤、平井、伊丹）

◇十八日…明大―立教（坪井、長澤、齋藤、西村）▽帝大―慶應（伊丹、西村、松井、辻）

◇十九日…▽帝大―慶應（角田、辻、松井、關口）▽立教―明大（伊丹、西村、齋藤、長澤）

◇二十五日…▽法政―早大（角田、松井、辻、齋藤）▽立教―慶應（坪井、西村、長澤、伊丹）

◇二十六日…▽立教―慶應（藤田、長澤、齋藤、西村、辻、坪井）▽早大―法政（關口、松井）

◇十月二日…▽法政―明大（伊丹、西村、齋藤、關口）▽帝大―立教（角田、長澤、松井、伊丹）

◇三日…▽立教―帝大（藤田、松井、伊丹、長澤）▽法政―明大（坪井、西村、辻、角田）

◇九日…▽早大―明大（坪井、齋藤、長澤、辻）▽法政―帝大（關口、松井、西村、角田）

◇十日…▽帝大―法政（伊丹、辻、松井、西村）▽早大―明大（關口、長澤、齋藤、坪井）

◇十六日…▽明大―慶應（伊丹、辻、藤田、坪井）▽法政―立教（三谷、松井、西村、角田）

◇十七日…△立教―法政（坪井、伊丹、松井、三谷）△慶應―明大（關口、長澤、齋藤、西村）

◇二十二日…△早大―慶應（藤田、長澤、辻、坪井）

◇二十三日…▽早大―慶應（角田、松井、關口、藤田）

# 六大學秋の陣容

【●印は主將　○印は新人】

### 法政

| 守備 | 氏名 | 出身校 | 學年 |
|---|---|---|---|
| 投 | 三森秀夫 | 松山商業 | 大3 |
| 投 | 森近豐 | 丸龜商業 | 專1 |
| 捕 | 竹內博 | 松山中學 | 大2 |
| 捕 | 鈴木忠三 | 長野商業 | 大1 |
| 捕 | 川越利彥 | 濱松師範 | 大3 |
| 一 | ●森谷良平 | 靜岡商業 | 大3 |
| 二 | 大谷信明 | 和歌山中 | 大3 |
| 三 | 鶴岡一人 | 廣島商業 | 大2 |
| 遊 | 柄澤清三郎 | 長野商業 | 大1 |
| 外 | 廣島義明 | 坂出商業 | 大3 |
| 外 | 勝村正一 | 坂出商業 | 大2 |
| 外 | 吉田泰章 | 吳港中學 | 大1 |
| 外 | 納家米吉 | 浪華商業 | 大3 |
| 外 | 武井潔 | 秋田中學 | 大2 |
| 補 | 赤根谷飛雄太郎 | 秋田中學 | 豫2 |
| 補 | 村上一治 | 東邦商業 | 豫2 |
| 補 | 瀧野通則 | 享榮商業 | 豫2 |
| 補 | 武田武 | 秋田中學 | 豫2 |
| 補 | 田代延二 | 育英商業 | 豫2 |
| 補 | 松下繁二 | 明石中學 | 豫2 |
| 補 | 山谷喜志夫 | 秋田中學 | 豫2 |
| 補 | ○伊藤茂 | 育英商業 | 豫2 |
| 補 | ○有請末雄 | 宇和島中 | 豫1 |
| 補 | ○佐藤平七 | 育英商業 | 豫1 |
| 補 | ○長坂貴一 | 東邦商業 | 豫1 |

（この外部員二十二名）

### 明治

| 守備 | 氏名 | 出身校 | 學年 |
|---|---|---|---|
| 投 | 吉田正男 | 中京商業 | 大2 |
| 投 | 中村忠一 | 臺南一中 | 大2 |
| 投 | 淸水秀雄 | 米子中學 | 專2 |
| 投 | 長谷川治 | 海南中學 | 專2 |
| 捕 | ●櫻井義繼 | 明石中學 | 大3 |
| 捕 | 東本貞雄 | 海南中學 | 大3 |
| 一 | 坂田完爾 | 廣陵中學 | 大2 |
| 二 | 恒川直順 | 中京商業 | 大2 |
| 二 | 龜田重雄 | 高輪中學 | 豫3 |
| 三 | 二瓶敏 | 大邱商業 | 大3 |
| 三 | 永澤淸 | 長野商業 | 大3 |
| 遊 | 杉浦淸 | 中京商業 | 大2 |
| 外 | 村上重夫 | 中京商業 | 大3 |
| 外 | 北澤藤平 | 長野商業 | 大2 |
| 外 | 飛田喜久司 | 關東中學 | 大1 |
| 補 | 兒玉利一 | 大分商業 | 豫2 |
| 補 | 伊藤庄七 | 中京商業 | 豫2 |
| 補 | 加藤春雄 | 岐阜商業 | 豫2 |
| 補 | 龜井巖 | 松山商業 | 豫2 |
| 補 | 矢野純一 | 下關商業 | 豫2 |
| 補 | 福山光雄 | 米國 | 專2 |
| 補 | 大木講信 | 下關商業 | 豫2 |
| 補 | 繁里榮 | 佐伯中學 | 專3 |
| 補 | 龜井正己 | 海南中學 | 專2 |
| 補 | ○塚越源市 | 桐生中學 | 豫1 |

（この外部員八名）

### 立教

| 守備 | 氏名 | 出身校 | 學年 |
|---|---|---|---|
| 投 | 村田貞界 | 松本商業 | 大3 |
| 投 | 石田榮雄 | 青森商業 | 大1 |
| 投 | 西鄉準 | 鹿兒二中 | 豫3 |
| 投 | 小山常吉 | 豐橋中學 | 大1 |
| 捕 | 成田喜代治 | 青森商業 | 大3 |
| 捕 | 町田鐵夫 | 栃木中學 | 大1 |
| 一 | ●黑田忠司 | 姬路中學 | 大3 |
| 二 | 北原昇 | 松本商業 | 豫3 |
| 三 | 淸原初男 | 高雄中學 | 大1 |
| 遊 | 高田常夫 | 豐浦中學 | 大3 |
| 遊 | 柚木俊治 | 吳港中學 | 豫3 |
| 外 | 志摩正司 | 廣陵中學 | 大3 |
| 外 | 高野百介 | 松本商業 | 大3 |
| 外 | 有村家齋 | 鹿兒二中 | 大2 |
| 外 | 小林一八 | 松本商業 | 大1 |
| 補 | 田川四郎吉 | 早實 | 大2 |
| 補 | 木下備水 | 米子中學 | 大3 |
| 補 | 櫻井太郎 | 愛知商業 | 大1 |
| 補 | 長崎貞夫 | 舞鶴中學 | 大1 |
| 補 | 阿部榮明 | 栃木中學 | 大1 |
| 補 | 田部輝雄 | 廣陵中學 | 豫3 |
| 補 | 福村晃 | 臺北一中 | 豫3 |
| 補 | 山縣推次 | 立教中學 | 豫3 |
| 補 | 鋼島新八 | 高崎商業 | 豫3 |

（この外部員二十四名）

### 早大

| 守備 | 氏名 | 出身校 | 學年 |
|---|---|---|---|
| 投 | ●若原正藏 | 八幡商業 | 大3 |
| 投 | 河村次郞 | 誠之館中 | 大1 |
| 投 | 近藤金光 | 享榮商業 | 大1 |
| 捕 | 片村信男 | 膳所中學 | 專3 |
| 捕 | 小楠勝仁 | 濱松一中 | 大1 |
| 一 | 吳明捷 | 嘉義農林 | 大2 |
| 一 | 片岡博國 | 東邦商業 | 專3 |
| 二 | 白川勝堯 | 丸龜中學 | 大2 |
| 二 | 柿島利彥 | 沼津商業 | 專3 |
| 三 | 高須淸 | 松山商業 | 大2 |
| 三 | 南村不可止 | 市岡中學 | 院2 |
| 遊 | 村瀨保夫 | 岐阜商業 | 大1 |
| 外 | 永田三郞 | 八尾中學 | 大1 |
| 外 | 三好善次 | 高松中學 | 大1 |
| 外 | 淺井禮三 | 成田中學 | 專3 |
| 補 | 田中勝實 | 釧路中學 | 大3 |
| 補 | 木村幸吉 | 愛知一中 | 大1 |
| 補 | 海野典 | 森岡中學 | 專3 |
| 補 | 酒井治彥 | 佐賀中學 | 院2 |
| 補 | 石黑久三 | 長岡中學 | 專2 |
| 補 | 本橋精一 | 早實 | 專3 |
| 補 | ○松井榮造 | 岐阜商業 | 院1 |
| 補 | ○辻井弘 | 平安中學 | 院1 |
| 補 | ○西浦文三 | 享榮商業 | 院1 |
| 補 | ○岩垣二朗 | 鳥取一中 | 院1 |

（この外部員三十名）

### 帝大

| 守備 | 氏名 | 出身校 | 學年 |
|---|---|---|---|
| 投 | 久保田泰二 | 弘前高校 | 大3 |
| 投 | 北川武 | 第五高校 | 大2 |
| 投 | 由谷敬吉 | 第一高校 | 大1 |
| 投 | 河合信雄 | 第三高校 | 大1 |
| 捕 | ●綠川大二郎 | 靜岡高校 | 大3 |
| 捕 | 今中加奈夫 | 廣島高校 | 大2 |
| 捕 | 五島昇 | 學習院 | 大1 |
| 一 | 野村正守 | 第八高校 | 大3 |
| 二 | 都築俊三郎 | 松山高校 | 大3 |
| 三 | 大村文夫 | 第一高校 | 大3 |
| 遊 | 小野善夫 | 第五高校 | 大3 |
| 外 | 津田收 | 第五高校 | 大3 |
| 外 | 平田幸之助 | 水戶高校 | 大3 |
| 外 | 福井正夫 | 松山高校 | 大3 |
| 外 | 佐伯義夫 | [illegible]島高校 | 大2 |
| 補 | 田島稔 | 第八高校 | 大2 |
| 補 | 日比野安 | 第八高校 | 大1 |
| 補 | 古川愼 | 學習院 | 大1 |
| 補 | 上杉隆憲 | 學習院 | 大1 |
| 補 | 太田勝啓 | 第一高校 | 大1 |
| 補 | 田卷昌雄 | 第二高校 | 大1 |
| 補 | 志茂山正藏 | 弘前高校 | 大1 |
| 補 | 古川鎭 | 東京高校 | 大1 |
| 補 | 田中義入 | 學習院 | 大1 |
| 補 | 五十嵐喜之助 | 水戶高校 | 大1 |

（この外部員三十名）

### 慶應

| 守備 | 氏名 | 出身校 | 學年 |
|---|---|---|---|
| 投 | 中田武雄 | 明石中學 | 豫3 |
| 投 | 高塚誠治 | 岡崎中學 | 豫2 |
| 投 | 高木正雄 | 平安中學 | 豫2 |
| 捕 | 櫻井寅二 | 中京商業 | 大2 |
| 捕 | 井上親一郎 | 米子中學 | 豫2 |
| 捕 | 松森一郎 | 神戶三中 | 豫2 |
| 一 | 灰山元章 | 廣島商業 | 大2 |
| 二 | ●岡泰藏 | 和歌山中 | 大3 |
| 二 | 九里正 | 甲陽中學 | 大2 |
| 三 | 平野直大 | 松江中學 | 大2 |
| 遊 | 宮崎要 | 佐賀商業 | 豫2 |
| 外 | 本田親喜 | 平安中學 | 大2 |
| 外 | 河瀨幸介 | 東邦中學 | 豫2 |
| 外 | 楠本保 | 明石中學 | 豫2 |
| 外 | 根津辰治 | 島根商業 | 豫2 |
| 補 | 大澤勳 | 北靑中學 | 大2 |
| 補 | 大槻守治 | 慶應商工 | 豫2 |
| 補 | 筧金芳 | 岐阜商業 | 豫2 |
| 補 | ○水野良一 | 愛知商業 | 高2 |
| 補 | ○大館盈六 | 愛知商業 | 豫2 |
| 補 | ○宇野光雄 | 和歌山中 | 豫2 |
| 補 | ○飯島滋彌 | 千葉中學 | 高2 |
| 補 | ○岩本强 | 平安中學 | 豫2 |
| 補 | ○成田啓二 | 米子中學 | 豫2 |
| 補 | ○近藤鐵巳 | 愛知商業 | 高2 |

（この外部員二十七名）

# 實行合作社「設置に關し」

## 總局、產業處長召集

總局では滿洲國の農事合作社設置に併行し全滿各鐵道愛護村に實行合作社を設置することゝなつたが、右合作社設置に關する諸準備ならびに現地諸事情聽取のため今月中總局に各鐵路局產業處長を召集し種々具體的問題につき協議する

# 競馬 大小穴續出に

## ファンの熱狂更に倍加す 休場明け第五日目

新京競馬秋季第二次第五日目は休場明けの人氣に煽られ相變らず競馬ファンは熱狂を演じて頗る興味ある競馬に終始した

競馬は曲者、第一レースより北龍（吉滿）百八十四圓の大穴を出しファンの興奮に拍車をかければ第九レースに幸成（高尾）の二十四圓四十錢、第十レースに新常陸（久保）二十九圓三十錢と引續いて中穴を出す等穴ファンにスッカリ我が世の春を謳歌してワンラし、尙當日の入場人員千八百五十五人、馬券賣上高六萬四千六百六十圓、搖彩票一萬四千二十圓であつた

## 出馬及び勝馬豫想

▲第一秋抽方變二、二〇〇米
- 一　愛國　五八　前田
- 二　金嵐　五九　甲斐均
- 三　東功　五六　高尾（二着）
- 四　高風　六〇　田中（一着）
- 五　日昇旗　六〇　久保田（穴）

▲第二新古外馬一、二〇〇米
- 一　金駒　五八　甲斐均（一着）
- 二　新泉　五七　梶原
- 三　金進　六一　久保田
- 四　鯉龍　五八　脇山

▲第三抽古二、〇〇〇米（一着　穴）
- 一　一走　七一　吉滿
- 二　公武　六八　脇山
- 三　新譽　六四　甲斐均

▲第四抽古障碍二、二〇〇米（一着）
- 一　新松綠　五八　吉滿
- 二　金華　六三　谷尾
- 三　滿鮮　六三　梶原
- 四　勸雄　六三　新原

▲第五各抽二、六〇〇米（二着　一着　穴）
- 一　金大川　六三　前田
- 二　大江戶　六四　久保田
- 三　早姬　五八　吉滿
- 四　三治　六〇　松本
- 五　八二　五九　甲斐均
- 六　舞姬　六〇　新原

▲第六秋抽二、〇〇〇米（一着　穴）
- 一　新朝風　五八　田中
- 二　越　六〇　梶原
- 三　公月　六〇　脇山
- 四　紅燕　五八　甲斐均

▲第七抽古一、八〇〇米（一着　二着　穴）
- 一　新勝　五七　甲斐均
- 二　新初音　五八　吉滿
- 三　公流　六一　落合
- 四　黎　六一　久保
- 五　長春　六三　梶原
- 六　眞力　五三　上原口
- 七　第二矢風　五五　清水

▲第八新古外馬二、〇〇〇米（一着　二着　穴）
- 一　海星　六三　新原
- 二　金翔　六七　脇山
- 三　新長　六〇　甲斐均
- 四　吟克登　五八　松本
- 五　公主錦　六四　吉滿
- 六　菊姬　　久保

▲第九秋抽一、八〇〇米（穴　一着　二着）
- 一　舞駒　五六　新原
- 二　惠駒　五一　久保田
- 三　新軍　五三　前田
- 四　辨天　五七　吉滿
- 五　玉浪　五六　谷尾
- 六　南方　五五　上原口
- 七　丹川　五六　梶原

▲第十抽古二、〇〇〇米（二着　穴　一着　三着）
- 一　公山　六四　落合
- 二　松影　六〇　松本
- 三　南天　六二　谷尾
- 四　常陸　六五　甲斐均
- 五　金來　五六　于連魁
- 六　金大鵬　五五　前田
- 七　金箔　五五　吉滿
- 八　勝輝　五四　高尾
- 九　秀輝　五九　脇山

▲第十一抽古一、八〇〇米（穴　一着）
- 一　新旭　六二　久保田
- 二　夕風　五七　落合
- 三　蘭花　六九　久保
- 四　三初　六九　吉滿

▲第十二秋抽一、八〇〇米（穴　一着　二着）
- 一　第三羽衣　六〇　清水
- 二　榮隆　五七　谷尾
- 三　大岩　五九　前田
- 四　陸王　五二　梶原
- 五　新福　五六　上原口
- 六　甲子　五九　田中
- 七　菊香　五四　于連魁

▲第十三抽古方變二、二〇〇米（一着　穴）
- 一　武勇　六二　甲斐均
- 二　幸成　六四　高尾
- 三　甘王　六六　久保田
- 四　勝駒　六二　落合

## 第五日目成績

△第一競馬（二、四〇〇米、六頭）1北龍（三分三九秒四）2快快、3一二三、配當―單一八四圓、複1九圓、2七圓一〇、搖彩1六四圓、2一六圓、等外五圓

△第二競馬（二、六〇〇米、四頭）1橫濱（三分三五秒一）配當―單九圓四〇、搖彩1七六圓八〇、等外六圓四〇

△第三競馬（二、二〇〇米、四頭）1第二春花（三分一三秒四）配當―單八圓九〇、搖彩1一一七圓三〇、等外九圓七〇

△第四競馬（二、〇〇〇米、一三頭）1吉生（二分五七秒三）2趙鵬程、3公月、配當―單九圓、複1七圓七〇、2一一圓、3二二圓五〇、搖彩1三九四圓二〇、3一一二圓六〇、3五六圓三〇、等外一四圓

△第五競馬（二、二〇〇米、二頭）1惠七（三分二四秒二）配當―單九圓一〇、搖彩一七七圓、等外四四圓二〇

△第六競馬（二、二〇〇米、七頭）1來北（三分七秒三）2新勇、3高風、配當―單七圓九〇、複1六圓二〇、2七[illegible]圓八〇、搖彩1二八四圓一〇、2七一圓、等外一七圓七〇

△第七競馬（二、〇〇〇米、六頭）1英貴（二分三七秒三）配當―單九圓一〇、複1六圓八〇、2一四圓六〇、搖彩1三二〇圓、2八〇圓、等外二五圓

△第八競馬（二、〇〇〇米、六頭）1八萬（二分四八秒）2千代駒、3公山、配當―單一三圓三〇、複1六圓四〇、2六圓五〇、搖彩1三四三圓、2八五圓七〇、等外二六圓八〇

△第九競馬（二、〇〇〇米、一三頭）1幸成（二分五〇秒一）配當―單二四圓四〇、複1六圓六〇、2五圓三〇、3六圓五〇、搖彩1八二八圓八〇、2二三六圓八〇、3一一八圓四〇、等外三二圓八〇

△第十競馬（一、八〇〇米、一〇頭）1新常陸（二分四六秒）配當―單二九圓三〇、（復）1一一圓、2一一圓、3七圓三〇、搖彩1七五七圓一〇、2一六圓三〇、3一〇八圓一〇、等外三八圓六〇

△第十一競馬（一、八〇〇米、一二頭）1朝日櫻（二分三一秒一）2三初、3睦月、配當―單一一圓七〇、複1六圓六〇、2一一圓四〇、3八圓三〇、搖彩1七六一圓六〇、2二一七圓六〇、3一〇八圓八〇、等外三〇圓二〇

△第十二競馬（二、三〇〇米、四頭）1堅城（三分六秒三）配當―單六圓三〇、搖彩1二四一圓、等外二〇圓

△第十三競馬（二、二〇〇米、六頭）1雲祥（二分五八秒一）2一天、3海星、配當―單九圓八〇、複1六圓七〇、2七圓七〇、搖彩1二七六圓四〇、2六九圓一〇、等外二一圓六〇

# 關東軍恤兵獻金

△一日受付 [illegible]

# コドモページ

# 皇軍を苦しめた城壁の構造は？

## 飛行機の爆彈で容易に破壞

**北支** 事變が起つてから平津地方（北平天津の地方）で度々の激しい戰爭が行はれましたが、支那軍は常に支那特有の城壁によつてわが皇軍に根強くはむかふので、爆撃砲撃などによつて城壁をこはしましたが、中でも宛平の戰では二將校の壯烈な肉彈によつて城壁を突破したなど涙ぐましい苦戰をなめてゐます。この我が軍を苦しめた城壁とは一體どんな構造のものでありませうか。

□

支那といふ所は昔から自分の生命や財產などは自分の手で守らねばならなかつたのですから城壁も自然と發達した譯です。昔は小さい村でも町でも皆この城壁で圍まれてゐたものですが、只今では殆んど壞されてしまい、それでもまだ大きな市街に城壁で圍まれてゐるのが大部殘つてゐます。北平や南京の城壁などこれで城壁は市街や町村の周りに有るばかりでなく北支一帶に亘つてあの有名な萬里の長城が支那を敵外から守つてゐるのです。世界に比類のない萬里の長城は河北省の張家口邊りが最も古いもので、支那大昔、秦の始皇帝といふ人の創つたものといはれてゐますこの城壁の內部はボロ〳〵の土と石とで混ぜ合したもので外部は小さい花崗石を貼りつけて出來てゐますが、その壁面は殆どエジプトのピラミット型に傾きを持つてゐます。丁度ダムの土堤のやうな恰好になつてゐるのです。

**その……** 後唐とか、宋とか、元とか、或は明とか隨分色々の時代に亘つて絕え間なくなほされたり、又は大きくされたりして、遂に今のやうな規模の大きな萬里の長城が出來上つたのです。北平の北方八達嶺附近の長城は、明とい時代の修築であつて、我が困難な、最も花々しかつた、山岳戰で占領したところの居庸關附近は元といふ時代の修築です。それ以後の城壁は土と石で固められた眞直ぐにつゝたつた壁面からなつてゐます。內は矢張り土で、垂直な大きな火山岩でガッチリと積み上げられてゐるのです。この城壁の高さは約三五尺、幅は五〇尺もあります。この上の方には黑い固い煉瓦（これは支那特有のレンガ）で銃をすえる窓が作られてゐます。上の平な部分には煉瓦や石が敷きつめてありますから、自動車など自由に走らせることも出來る位です。萬里の長城だけでなく支那の市街の城壁も大體長城と同じ作り方のものですが、壁面の岩石は長城ほどには大きくありません。―つまり二尺に四尺位の火山岩で積み上げられてゐて、所によつては支那特有の煉瓦も混じつてゐる所もあり、內は矢張り土をつめ込んで作つてあります。これらの都市を圍む城壁には所々出入の城門があつて、門上には高い木造建物が聳えてゐます。

**北平** の城門の素晴らしさは全く世界の驚異で、世に都市の數は數限りなくあるのですが、その大きさ或は又、悠々とした構への點ではこれにかなふものは殆ど無いといつてもいゝくらひです。其構へは內外兩城を一緒にして東西十三里（但しこの里數は支那の里で支那の約五里は日本の一里）南北十五里もあるのです。城壁を繞らした內壁の高さは三七尺、壁上の單道幅五〇尺と六尺、土台の厚さ四〇尺といふとてつもない大きなもので、所々に聳えてゐる角樓などは全く歐米の高層建築のやうです。城壁の所々には永定門、廣安門、朝陽門など十二の城門があつて、これが內門と外門との二重の入口になつてゐます。廣安門で廿九軍が我が軍を內門と外門との間に閉ぢ込めて不法射撃をやつたやうに、內門・外門との間に這入れば袋の鼠同樣、出る事も入ることも出來ません。まるで「迷宮」のやうな仕掛であります。だがこれを建築構造の上から見ると大して丈夫といふ程の建物ではなく、飛行機からの爆撃では近代的な鐵筋コンクリートの建物の方が遙かに丈夫で支那の城壁などは外が石で內は土だから爆彈で破壞するのはそれ程困難ではないのです。だからといつても其の構へが馬鹿に大きいものだから爆彈や砲彈でも一發や二發位ゐ命中したのではなか〳〵城壁全體を完全に破壞することは困難なわけであります。

# 白兵戰とは何んでせう

**上海戰線に** 北支戰線に、我が軍は僅かな兵力で十數倍もある支那の大部隊を攻め捲くつて居りまが、勇猛果敢な我が兵隊さん達は一戰毎に數限りないてからを立てて居ります時々物凄い白兵戰を行つて敵の氣勢を挫いたのですが、我が軍はこの白兵戰が最も得意とするものです。今尚百何十度といふ暑さもいとはず其の奮戰を繰り返して居ります。この白兵戰といふのは、白兵といつて、つまり刀や劍とか又は槍などで敵を斬り捲くつたり、刺し殺したりする戰のことで、人間と人間とが入り亂れて肉彈の戰ひとなつて斬り結ぶ戰場での最も花々しい場面です。大砲、爆彈、銃撃の科學武器の戰ひのことを火戰といひますが、白兵戰はこれに對していふ言葉で

**白刃で火花** を散らして戰ふ肉彈戰とも云へる譯です。白兵戰は多く步兵の突擊、或は騎兵が襲擊する時に行はれるものであつて、最初火戰によつて敵の勢力を奪つてから最後にこの銃劍突擊、この白兵戰によつて勝敗がきまるもので中でも騎兵の襲擊は乘馬戰ですから、本當は騎兵の白兵戰が最も素晴らしく勇壯なものです。

## マンガニシタ 丹下左膳

フネハ、デテユク、ケムリハ、ノコル。コリヤ、コリヤカ、ダガ、コノフネデハダメダ

ノラクラ、ウマイ、チエハ、ナイカ。

アレ、ミカタオキルトハ、ハ、キガ・クルッタカナ

コレ、ノラクラ。キサマノ、オカゲデ、ジャウダ、キッテ、タチワウ シヤウカラ、カクゴシロ

センセイ・ソリヤ、ムチヤダ、イカニ、ヤルノガ、スキデモ、ソリヤ アンマリムチデスヨ

ツヾク

## マンガ左膳

ヘヽヽ、アイカハラズ、スゴイ・ウデダナー 一刀ノモトニ、フネオ、マップタツニ スルトハ・ダガ、イノチユ、ベツデウナクテ、アシシンシタ

ドウダ！ノラクラ、オドロイタカ

コリヤ、イイ、キモチダワイ

ソレ、ムカウニ、アルブネオ、モッテコイ

尋四 栗井成行（八島校）

父母兄弟姉妹

尋四 高橋達治（室町校）

## コドモの時事

# 市街戰に活躍する兵器と爆彈

△△……市街戰に活躍するものに迫擊砲があります。迫擊砲の彈丸は爆彈のやうな恰好で尾の所に翼がついてゐて、屆く最大の距離はせいぜい二、〇〇〇から三、〇〇〇メートル位のものですが、彈丸の速力が非常に早いものでなければコンクリートの壁をつきぬける事は一寸むづかしいです。これは城塞やコンクリート壁をこはす事よりも人間を傷ける方に相當効めがあります。

△△……迫擊砲の彈丸は眞直ぐに進まず、曲線をつくつて飛びますから、城塞の向ふに隱れてゐる敵兵や塹壕の中にゐる敵兵を砲擊したり、物蔭に隱れてゐて敵を砲擊するのに都合がよいのです。市街戰には野戰重砲といふ大砲は使ひ難いのですから迫擊砲などが盛んに用ひられてゐます。其のほかには機關銃や小銃などが主な兵器であります。もう一つ市街戰に活躍するものに手榴彈があります。

△△……これは塹壕、構築物（トーチカ）などを破壞するよりも人を殺したるするのが目的であつて、三〇から四〇メートル位の近距離から投げつけるので市街戰にはなくてはならぬものです。支那軍の使つてゐる手榴彈はサイダー壜のやうな形をしてゐて之を建物の窓などから投げ込んで攻擊してゐますが、これが市街戰には最も有效な武器の一つでせう。

# けふの番組

M・T・C・Y 新京放送局 五日（日曜日）

**朝**

六、二五 ニュース（東京）
六、三〇 ラヂオ體操・入港船のお知らせ（大連）
八、〇〇 氣象通報（新京）
八、〇五 朝の音樂（大連）
九、三〇 子供の時間（東京） 童謠 皇太子樣 外十一曲 青い鳥童謠音樂園兒童
一〇、〇〇 日曜勤行（東京）＝淺草日輪寺より中繼＝ 導師 權大僧正 星徹定 外一山大衆
一〇、四〇 講演（大阪） 外國から渡來する珍らしい植物、野菜、果物 神戸稅關植物檢查課長 岩佐龍夫
一一、一〇 經濟市況（東京）
一一、二〇 趣味講話（東京） 葉隱れと武士道 澁谷作助

**晝**

一一、五九 時報（東京） 引續き 東京大學野球聯盟リーグ戰實況＝明治神宮外苑野球場より中繼＝（定時放送優先、雨天の場合は延期す）
〇、三〇 ニュース（東京、新京）
一、〇〇 滿洲の遊・唄（奉天）（對日放送全日滿）＝奉天公學校校庭より中繼＝ 解說 奉天公學校兒童 アナウンサー 宮春行 河合利貞 ―野球中止の場合―
一、二〇 日淸戰爭時代の思ひ出（東京）

**夜**

四、〇〇 ニュース（東京、新京）
六、〇〇 子供の時間（東京） 名作物語 里見八犬傳（終） 瀧澤馬琴作 脚色並演出 AKコドモ會
七、〇〇 ニュース（東京） ニュース、告知事項 番組豫告（新京）
七、三〇 國民歌謠（大阪） 千人針 外二曲 コーラ・ナニワ 大阪ラヂオ・オーケストラ
七、四〇 日曜特輯ニュース演藝（東京）
八、〇五 琵琶 北滿の志士 榎本芝水（東京）
八、三五 落語 鍬形 三遊亭圓生（東京）
八、五五 浪花節（大阪） 壯烈!!梅林大尉 奮機よさらば 宮川松安
九、三〇 時報、ニュース（東京） 氣象通報、ニュース、告知事項、番組豫告（新京）
一〇、一〇 ニュース再放送
一〇、三〇 北滿の時間（哈爾濱）
一一、〇〇 滿語ニュース 講演、音樂

アナウンサー 上森（朝） 佐藤（晝） 宮岡（夜）



# 〃北滿の志士〃

## 榎本芝水さんの琵琶

八後・五〇（東京）

伊藤松雄作詞 榎本芝水作曲

△△…日露の風雲漸るるや北京城下の遠近に、皇國を憂ふ志士丈夫、敵が命と頼むなる、東淸鐵路爆破して、輸送の道を絕たばやと、雄心猛く奮ひ起つ、橫川省三、沖禎介、擧りてここに十二名、義勇奉公四つの文字、胸に彫みて轡をあぐ、行途は遠し興安嶺、萬里の長城越へゆけば、渺々千里白銀の、雪に明け、雪に暮れゆく曠野原、吹雪のしとね氷に枕し、結びかねたる夢の數、幾夜幾度重ねけん、林西近く辿りつき、チラチン廟に宿る時、朔風凍る嶺の雪、越すこと叶はずと聞きしかば、二隊に分れ進まんと、明日の命も白雪を、双掌にうけてすすりあひ、駒たて直し海拉爾に、向ふ同志と袖わかち、齊々哈爾めざす橫川班

風蕭々兮易水寒 壯士一去不復還

△△…吹雪にのせて朗々と、沖禎介が吟聲に、別れ惜みつ西東、身はやつれたる旅衣、駒の足搔もやうやうに、北京を出て五十日、卯月と云ふも名のみにて、みちもせに散る六つの花、氷柱を照す月の影、心にしみてさむざむと、瞳あぐればこはいかに、目指す嫩江の鐵橋に程遠からぬ村の灯ぞ、明くるを待つももどかしと、松崎、中山、脇、田村、手綱引しめヤール河の鐵橋偵察に忍び行く、橫川沖は殘りゐて、互ひに手をばとり交し微臣聊か國恩に報ひん秋ぞ今日なるぞ、勵みあふさへ眼に淚、折柄迫る蹄の音、馬の嘶き人ゞ聲

△△…亂るゝまゝにちかよへば、同志にあらで敵の兵、銃と鎗をつきつけたり、これ何事ぞ我々は、喇嘛僧なりと云ひつくらふ、二人が言葉きゝいれず、捕へられしぞ無念なる、かくて富拉爾基驛に屯せる敵が司令部に曳きゆかれ嚴しき問ひを聞き流せど、爆破の火藥示されて、はやこれまでと覺悟しつ從容として肯けば、軍法會議斷乎として、銃殺の刑下したり、死をば惜まぬ丈夫も、獄舍の暗き灯にしのぶ故鄉の山や川、血肉わけたる親や子よ、君が御爲に國の爲、捧ぐ命は身の譽れ、歎き悲む事勿れと、形見に殘す筆の跡

△△……時こそ至れ、卯月廿一日の、名も哈爾濱の夕まぐれ、殘んの雪を踏みて立つは、我等日の本の武人ゆえ、橫川二本柱人柱、從容として縄目の辱しめは許されよ、とり出したる白布を橫川笑みて受くれども、沖は退け手も觸れず、いざ疾く射てよと立つたりける、赤誠映ゆる 空、聲高らかにもろともに、天皇陛下萬歲、皇后陛下萬歲、唱ふる聲を名殘とし、轟然たる銃聲にドッと大地にうち倒れ、あはれ玉の緖絕へにけり、雲は流れて空ゆけど、小鳥は丘を越へゆけど、志士の碑搖ぎなく曠野に礎く神とこそ、曠野に礎く神とこそ

## 落語 鍬形

八後・五三（東京）

△…三遊亭圓生

或る所に丈の人並より小さい男が友達から始終小さい小さいといはれ悲觀して知り合ひの所へ相談に行くと小さくても觀音樣はあんな大きな仁王樣を門番にしてゐる。昔大阪相撲に鍬形といふ關取がゐて非常に丈が小さい此の關取が東の大關雷電と取組むことになつた。尋常では勝てない勝負故計略をもつて小さい鍬形が勝つた。これが緣となつて二人は兄弟分の緣を結び勝つた鍬形が兄貴になり負けた雷電が弟分になつた形は小さくつても智謀さへあればくやむことはないといはれ自分も相撲の稽古がしたくなり紹介狀を貰つて關取の所へ弟子入りをする。その日は稽古をつけて貰ひ每日稽古すれば大きくなるといはれ喜びながら家へ歸つてくる。飯を食はうとするが今火を引いた許りとのことでその男はひとねいりする。飯の支度が出來たので女房が起すと「おつかあ案氣なものだなあ相撲の稽古をすると不思議だ」「何か不思議なことがあつたかえ」「身體がドンドン大きくなる布團から足が三寸ばかり出た」「大アお前、出るのが當然だよ、座布團だもの」

# 國民歌謠

七後・三〇（大阪）

女聲齊唱 コーラ・ナニワ
男聲齊唱 セレスティナ
伴奏 大阪ラヂオ・オーケストラ

一、女聲齊唱 千人針 サトウハチロー作詞 乘松昭博作曲

橋のたもとに町角に、並木の路に停車場に、千人針の人の數、心をこめて運ぶ針

とび行く號外鈴の音に、胸はわきたつひきしまる、どうぞひとつと兒のため、脊の君のため叔父のため

人はかはれど眞心は、みんな一つに國のため、わたしも一針縫いたいと、じつと見てゐる晝の月

二、男聲齊唱 祖國の柱 大木惇夫作詞 服部良一作曲

高粱枯れて鳥啼く、赤き夕陽の國境、思へば悲しつはものは、曠野の露と消え果てて、今は眠るかこの丘に

祖國のために捧げたる、いとも尊き人柱、苔蒸すかばね靈あらば、わが呼ぶ聲にこだまして、塚も動けよ秋風に

手向の花は薰れども、赤き夕陽の血に染みて、風愁々の音を忍ぶ、幽魂永くとゞまりて祖國を護れ亡き友よ

三、男聲齊唱 征けますらを 土岐善麿作詞 堀內敬三作曲

征けよますらを凛然と、み旗も高き雄たけびに、空陸ゆくところ、正義に向ふ敵もなし

仰ぐ御稜威の輝きに、雲こそ開け長城の、萬里の道をゆけば、明朗共に望むべし

邦け新たに興るとき、東亞平和親善の、一路を阻むいく年の、迷夢のとりでふみ破れ

西に落陽は赤くとも、祖國は東國民の、銃後のちかひ血に燃えて、富士が根朝日照りそひぬ

いまぞ皇國のために起つ、勇武の軍は天を知り機は精銳を地に誇る、忠誠君に榮譽あれ、忠誠君に榮譽あれ、萬歲、萬歲、萬々歲

# 秋日弄文帖

大内隆雄

内田百間に随筆あり、題して「間抜けの實在に關する文獻」といふ、その内容はもうはつきり覺えないが、世にも愛すべき間抜けの言行が書いてあつた筈である。一讀思はず破顏、時を經て再讀、更に微笑した事を覺えてゐる。

むかし英語研究の雜誌ですぐれたるエッセイの標本として某英人のものせるものを讀んだことがある。それには題した所を日本語に移せば「帽子を追つかける」とあつた。蓋しこの帽子は例の夏のカンカン帽であらう。風に吹かれて夏の巷にころころ轉がる帽子ほど愛嬌あるものはないといふやうな事が書いてあつたやうに思ふ。

さらに別の随筆の事が頭に浮ぶ。これは、世に詩人に好適せる商賣として質屋に如くものは無いといふ說法がいとも巧みに說かれてゐた。その論理の運び方などは忘れてしまつたが、讀者をして珍妙なる思ひに導くに缺くるところなき好文章であつたと思ふ。

あれこれと考へ合せて僕思へらく、随筆の妙處は自己の間抜けなるを遠慮なく公表し或ひはまた他人の間抜け振りについて人間的同情と諷刺を織り混ぜて發表し、或ひは何處か抜けた所のあるやうな文章を書くに限る、これから一つその手で行つてやらう―。

然るにである。見渡したところわが友人諸君は何れも英明才敏、仲々に間抜けた所など見當らず、生きてわが弄文の材料になるなどの資格を缺いて居られる、一つ物しようと思ひ立つたのがはたと行き詰らざるを得ず、殘されたのは―別な方面たらざるを得ぬ。道は近きに在らう。

男あり、甚だ酒を愛す、より正しく言へば酒を飲んで醉ふことを愛すといふべきか。或ひはまた醉つて斯ら妙に世界萬物に對して生じて來る親愛の情を好むと言ふべきか。兎も角、そのやうな風で、人は「近頃おとなしくなつた」と言つて近來飲まぬと言ふ評判をくだすが、彼氏は機を待ち變に臨んで大いに酒杯に接しやうとするのである。そしてそのはては、馬車を驅つて遠く郊外？をさまよつたりする。秋冷の夜氣まことに愛すべきかな、そんな事を言つて仲々家に歸らうとせぬ。

そのやうな晩の或るときであつた。彼は賑かな街角に立ち、煙草などを賣る滿人に呼び掛けて

「十圓で釣りはあるか？」

と言つた事を記憶してゐる。その時は確かに胸中に十圓の札を持つてゐたのである。ところで十圓で釣錢は無かつたそのまゝ歸つたと記憶してゐる。

確かに持つてゐた筈の十圓が何處でか失はれてゐるのを彼が氣付いたのは、實はそれから數日を經て、次に酒を飲んだ機會に於いてであつた。間抜けなるかな。

思へばあれは某所の原稿を書いて貰つた謝禮であつた。女房は知らなかつたのである。思ふに、どうも臨時收入を隱してゐたりしては結果が惡いらしい。今後は改める事にしやう。飲みに行く時は堂々と大藏大臣をして出させる事にしやう。だが當分その財源も涸渇してゐるとすれば困つたものである。いかにすべきか……やつぱり彼はそんな事を考へてゐるのである。何しろ季節は酒がうまくなるといふこの際である。學藝欄編輯者よ、良き巢でもあれば紹介せんかね、さう呼び掛けてこの雜文を終る。（九、三）

## 秋・郷愁

小野寺清子

召集令近く下らむ狀勢に弟は身の整理急ぐとふ

うから寄りて千人針やおん護符をとゝのへ居ると姉は告げ來し

老いらくの父は末の子を皇國に捧げむ日をぞ待ちてゐますや

皇軍の一員となりて弟も支那膺懲の聖火揚ぐるや（高射砲手）

折ふしのおのがしぐさに亡き母の面影あるを知れりこの頃

みまかりて十年餘へしおん母の面影今し吾に現はる

さびもてる此の聲さへやそのまゝに世にいます頃の母に似て來し

（九月一日詠）

## 人間的記錄！ ―ニコライ二世の日記から―

「中央公論」九月號所載、ニコライ二世の日記抄譯は極めて興味あるものであつた。當時のロシアが極めて微妙な轉換の時期にあつたし、この間に處した皇帝としての人間的記錄は躍如たるものがあるのである。このやうなものが公刊されるに至つたことは政治的變化の一つの貢獻に違ひない。

われわれは、われわれの現に住む國に於いても、かかる良き資料を持ち得る筈である。着々と進む建設、それは乾燥した統計や大ざつぱな圖表で現され得るとともに、生き生きとした、人間的記錄によつて裏付けられることによつて光彩あるものたり得やう。かかる待望を提出して良い段階にすでに達した筈であると思ふのだ。（J・R）

## ブツクレビユー

### 中河與一著 〝萬葉の精神〟

桃北好澄

本書は「偶然論」の提出者中河與一氏が昭和十年以降書き續けて來たエッセイ、紀行等を、標題に依つて類蒐したものである。

著者は言ふ、―

「日本的」といふ事がしきりに論じられてゐる。だが「日本的」とは鎖國といふ事ではあるまい。世界の中にあつて日本を見るといふ事であつて、日本を世界との關連にあつて自覺する事である。今日まで吾々を支配したものは外國への拜跪であり、外國への從屬でありすぎた。更に悲慘なる事實は、滔々たる唯物思想のために、人はうるほひある情熱といふものを失ひ人間生活といふものを、爭鬪の原理によつて、置きかへようとした。

私は先きに、この氣流を斷絶しようとして、偶然論を言ひ、今日の最も光輝ある科學思想と併行した。

今日何よりも必要な事は、文學も生活も總て永遠の希望によつて新らしい批判を樹立しなければならぬといふ事であつて、そのためには合理的欺瞞、その日ぐらしの現實主義を絶對に拒否すべきであるとし、「燃ゆるもの、一時に自己を犧牲にして崇高なるものに參加せんとする精神、現實を超過して永遠に生きようとする歡契」――そうしたものを讃美してゐる。

近ごろの文壇が病氣への禮拜に終つた事を指摘し、これこそ現實主義の最も悲慘なるゆきづまりであり、文化意識を拒否したものとして、文學の衰弱の徵候をまざ／＼と見た著者は、萬葉人の高揚と勇猛の氣質に敬服し、「萬葉浪漫」の回歸とともに、はじめて、日本の文化は興隆するであらうと說いた。

古來、日本では人の生れたまゝの淸淨無垢の心は神に通ふとさへ言はれ、淨く直き心を尊んだのであるが、いまや再び「謙讓」と「犧牲」の中に新しい人間の發見が試みられつつあることは頗る興味のある問題と言はねばならない。

「瀨戸內海と萬葉集」「佐美島考」「萬葉への思慕」等は著者が親しく實地踏查して書いたものであつて、萬葉への深い理解とともに高く買はれてよいものである。

大抵は、新聞、雜誌等に發表せられた折散見したものではあつたが、一書に纏めたのを再讀して、近來稀しく情熱に滿溢れたものとして深い感銘を受取ることが出來た。（東京京橋千倉書房、四六版三百二十頁、一圓三十錢）

## 新刊

△滿洲鑛業協會會報（八月號）河本大作「滿洲に於ける炭鑛事情に就て」西原寬直「特許アブフエルベック式煉炭と煉炭或形に就て」その他統計、法規、時報等（新京興安大路五二四、滿洲鑛業協會、五角）

△内外經濟情報（九月號）「建國以來日滿貿易之展望」「中國統制棉業六年計畫」その他（新京吉野町三丁目七、日滿實業協會滿洲支部二十錢）

△大連商工會議所々報（九月一日號）會社異動、參考資料等好資料を盛る（大連市敷島町八二、大連商工會議所、十錢）

△物價賃銀調查月報（九〇號）本年六月分の調查（關東局官房文書課）

△奉天市商會月刊（七月號）法規、調查、統計その他奉天滿商の動きを示す（奉天省城鐘樓南大街路西三七奉天市商會、二角）

△實業之朝鮮（九月號）「文化學上より國際政局の一大轉換期迫る日支兩國全面大衝突は實現の第一步である」と題する社說を卷頭に朝鮮關係の記事多くを盛る（京城府本町五丁目十六實業之朝鮮社、五十錢）

△同盟旬報（八月中旬號）四六倍八十二頁に內外の重要記事を摘錄（東京市銀座西八ノ九、同盟通信社出版部三十五錢）

▲人事週報（八月二十五號）人事興信錄を補充するものとして利用されやう（東京市麴町區丸ノ內二ノ一八、人事興信所、十五錢）

△書香（八月號）中道太志「辭書の話」植野武雄「明の董越の朝鮮賦とその異版本に就て」「北支に關する當面の參考書」「書評展望」等（大連市東公園町滿鐵大連圖書館、五圓）

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

# 卓上医学

# 眼を酷使する近代人

## 激増する視力障害と眼疾

## 誰にも必要な健眼工作

**獨逸** の有名な工業會社の發表によりますと、一日中で最も多く事故の起る時間は午前では十一時から十二時まで、午後では五時から六時迄だとの事です。これは丁度仕事に取掛つてから四五時間目で一番眼の疲れて來る時刻だからであります眼の神經が疲れ、視力減退を起して來ると腦との聯絡が悪く、確かに眼で見た物を頭で判斷が出來なくなり、斯うした事故が起るのであります。

**斯様** に眼と腦とは不可離の關係にあり、眼の故障は能率の遞減、事故の原因となるばかりでなく、近代病と言はれる神經衰弱も大多數は眼の疲勞から誘起されるものと見られて居ります。にも拘らず近代生活は凡そ眼を疲勞衰弱せしむべき凡ゆる條件が具つて居ります。

例へば一歩外出すれば鋪道には洪水のやうに圓タク、電車、バス、自轉車が疾走し、それ等の捲き上げる濛々たる砂塵と有害ガスは容赦なく眼を傷けます。

一方生活部門に於ても晝間電燈を要するビルの一室で、執務、記帳、計算、夜更し等、眼を酷使、虐待するやうに出來上つて居ります。

**都會** 人の誰もが殆ど不知不識の間に眼を傷め、視力障害に陥つてゐるのも蓋し當然過ぎるのであります。處がかうした視力障害は概ね緩慢に起つて來る爲に多くの人は、迂闊に捨て置く場合が多く、次第に重症に移行し、それと氣付く時には既に遅く、不治の近視や重症の眼疾に陥つて、甚だしく難澁するのが常です。

何病でも手當は一日早ければ一日治りが早いので、特に眼のやうに微妙な感覺器官の故障は一刻も早く手當せねばならない筈です。

では並に近代人に最も多い眼病とその適切な手當法を述べて見ることと致しませう。

**眼精** 疲勞――これは執務家、學生、細かい仕事や編物をする人に多い近代的眼病の一つで、眼が疲れ易く、視力がボンヤリし、頭が重く、讀書や事務が嫌になります。又腦に直接影響して記憶力や判斷力が鈍り、睡眠不足の感じがいつもつき纒ひます。

次に結膜炎――俗にはやり目、やに眼、はれ眼などと稱ばれるもので、結膜の充血、眼瞼の腫れ、眼脂の分泌等が主なる症狀で明るい光線が眩しくて見られぬやうになります。原因はK・W氏菌、肺炎菌、猛烈な光線の刺戟です。時として刺さやうな痛みを覺えることもあります

**角膜** 炎――星眼、つき眼、霞み眼、爛れ眼等と稱ばれ、眼球の黒い部分が冒される眼病です。原因は外傷、或は結膜炎の進行によるもので、黒目に星が出來たり、濁りが見えひどく眼が霞み、瞼には醜い爛れが起ります。相當重い眼疾の一つです。

その他眼瞼炎、麥粒腫、涙嚢症トラホーム等がありますが、いづれも眼の酷使、不衛生から感染、誘發されるもので早期手當を怠れば、視力障害、失明の危険を伴ひます。

**適當** な家庭療法としては一日に數回「新時代の眼科治療劑」として、信頼されるスマイルを點眼することが最も手輕で効果的です。スマイルの持つ優れた殺菌、收斂、鎭痛、消炎作用は快よく病菌を殺し、痛みを和らげ腫れ、ただれを引かせ、視力を向復して、不快な眼疾を治療します。勿論眼疾の治療以上に讀書、執務、編物などの細かい仕事で眼の疲れた時に點眼すれば、眼疾を防ぎ、視力を增して、眼の健康な明澄さを齎らし、能率を著しく向上せしめます。

尚スマイルは醫學博士中村榮先生、醫學博士仁藤隆作先生の推奬される近代的眼科藥で、定價廿五錢、四十五錢で藥店百貨店藥品部にあり。總代理店東京大阪株式會社玉置商店（振替東京七二番）

# 榮養不良 ―から起る― 小兒の眼疾

☆小兒の夜盲症や角膜軟化症が榮養不良から起ることは御承知のことと思ひますが、一般に病原菌の侵入から起ると信じられてゐる結膜炎や角膜炎も、榮養の不足から起る場合が決して少くないのであります。

☆例へば角膜炎（ほし目、霞み目）などはその代表的なものでこれは主としてヴイタミンAやDの不足した所謂虚弱體質の子供が屢々繰返す處の眼疾であります。赤弱視兒童と稱はれる視力の弱い子供がありますが、これなども主として榮養不良から誘起されるもので、體質的に改善しない限り根本治療は困難であります。

☆從つてこれらの眼疾の手當としてはまづ榮養狀態を改善して體質を強化する必要があります。例へばヴイタミンAD劑として著名な理研ヴイタミンのやうな榮養劑を常用させ、病原を除くことが肝要であります。勿論眼疾そのもの手當としては優秀な眼科藥を隨時點眼して症狀を輕快せしめねばなりません。

☆斯うした小兒眼疾の治療劑として最も好評を博してゐるのはスマイルで、スマイルの持つ優れた殺菌、消毒、鎭痛、健眼の各作用は、迅かに眼疾の苦痛を去るばかりでなく、視力を強化し、連用すれば著しく眼性をよくします。

# 夏の覺見

# プール遊泳の心得帖

ハダカの世界、水の世界、夏になると俄然プールが人氣の焦點となります。だが困つたことにプールで泳ぐ人には結膜炎の一種で非常に強い傳染力をもつプール性眼炎といふ眼病が流行ります。

**原因** はプールの水が汚れてゐるからですが、一體どの位汚れてゐるか？　嘗て府の衛生試驗所で調べた結果を見ますと、使用後六日で見た目にも非常に汚染してゐる事がわかり、化學的に見て、クロール、アムモニア、蛋白體アムモニア等が檢出され、更に驚くことには、細菌數六萬四千餘、中には大腸菌、連鎖狀球菌さへ發見されたといふ事です。

**勿論** クロール石灰を投入して消毒しますと細菌數も減りはしますが、それでも僅かに消毒後十五時間を經つて調べてみましたところ細菌四千餘を檢出し得たといふのですから油斷はなりません。

斯様にプールの水は經費の關係で水を取り變へる事も少いのでどうしても不潔になり勝ちなものです。そこへ一人でも何かの病氣の者が泳ぐと、忽ちその黴菌がひろがつてしまひ、一度この菌が眼に入ると洗つた位ではなかなか防げるものではありません。それに

**無闇** に眼を洗ふことは却つて眼を害しますから、ホーサン水でざつと洗つておくとか、もつとよい事は殺菌力の強い眼藥スマイルを點眼しておくことです。」

# 點滴

## 遠視の手當

☆眼性神經衰弱の主原因と見られる遠視眼は、近いものや、細かい物を見ると、頭痛がしたり、眼が疲れたり、充血したり、肩が凝つたり、非常な疲勞を覺えるものですが、一般に氣附かぬ人が多いやうです。遠視の手當は凸レンズの眼鏡で容易く矯正されるものですから捨てて置かないで、早速眼鏡をお用ひになることです。

# 映画と眼

映画を見ると眼が疲れる…とよく映画ファンの嘆聲を聞きますが或る専門家の説によりますと、暗所に於ける同一物の凝視、畫面の動搖と明暗、急速なる變化等による映画の影響は、視神經の疲勞度に於て、執務や讀書に數倍すると報告されて居ります。

よく映画鑑賞後に眼の充血や疲勞を訴へるのは全くこの爲で、甚しい場合には、明るい光線が眩しくて見られないやうなこともあり從つて映画鑑賞を快適にする爲には常に優れた眼科藥スマイルを携行して隨時點眼し、視力の保護と回復に備へることが必要でせう！

# 滿洲事變を銘記する 戰跡訪問マラソン

## 十八日行程二萬四千五百米 國都恒例の競技開催

滿洲事變を永久に銘記すると共に大陸開發の質實剛健の思想と强健の身體を養ふため毎年九月十八日國都で開催の戰跡訪問マラソン大會は本年も新京體育聯盟、滿洲陸上競技協會主催、本社後援のもとに盛大に擧行することに決定した

### 競技規約內容

△競技規約＝參加資格は新京在住者
△チーム編成＝官公署銀行會社、學校、商店、市中一般團體を單位とす、各單位の聯合チームは認めず
△申込期日＝十六日正午まで滿鐵支社地方課社會係に申込むこと
△コース＝第一區西公園前より忠靈塔を經て寬城子に到る（五、七〇〇米）第二區寬城子、日本橋電業會社營業所前（二、九〇〇米）第三區日本橋電業營業所前南關間（四、〇〇〇米）第四區南關、南嶺間（四、六〇〇米）第五區南嶺、大經路交叉點間（四、三〇〇米）第六區大經路交叉點、西公園前（三、〇〇〇米）全行程二萬四千五百米で前年の參加チームは三十チームであつたが本年は更に增加するものと期待されてゐる

## 赤十字に 御眞影奉遷

天皇、皇后兩陛下御眞影を新京北安路五〇一の日本赤十字社滿洲委員本部に來る八日御奉遷申上げることになつた、同社員は同日午後六時廿分同部に參集、奉迎のこと、服裝は禮裝若くは不敬ならざるもの尙社員章を佩用するべしと

# けふの陸上競技

## 西公園で滿鐵支社對中央銀行 兩軍出場選手決る

滿鐵支社對中央銀行陸上競技會は五日午後二時から新京西公園滿鐵運動場で開催するが役員及び兩軍選手は左の如くである
△審判長上田賢象、審判麻生、安達、中野、村上、橋本、森田、野口、横瀨、鈴木、佐々木、永富
△滿鐵監督森田貞一、マネヂヤー伊藤愼吾、主將中島圭介、選手＝中島、荻原、香西（百米）三雲、渡邊、高原（槍投）中島、竹內、中村（走巾跳）佐藤、妻木、姜（四百米）竹內、四宮、酒井（走高跳）中島、酒井、齋（高障碍）藤原、佐藤、齋（圓盤投）妻木、姜（千五百米）中村、竹內、香西、酒井（三段跳）酒井、荻原、香西、中島（八百米リレー）
△中銀監督野口、主將渡邊、選手＝李、橋都、濟木、副島（百米）平田、古岩井、引頭（槍投）出口、引頭、福田、濟木（走巾跳）孔、李、陳、渡邊（四百米）引頭、出口、福田（走高跳）橋都、李（國）（高障碍）宮、渡邊、飯島（圓盤投）周、郝、中村（千五百米）出口、竹內、福田（三段跳）李、橋都、孔、副島、濟木（八百米リレー）

# 面影に香煙縷々

## 東滿の華と散つた六勇士 昨日嚴かな告別式

滿洲國政府の要務を帶びて六月下旬以來〇〇方面に向つて活躍中、密山縣老黑背附近に於て共產系匪團と遭遇し衆寡敵せず遂に北滿の華と散つた法官盛孝、大駒鶴次郎、片桐良英、新妻英、宮崎滿年、大橋正芳氏等の合同慰靈祭は平林委員長、大橋、安達、兒玉各副委員長司祭のもとに四日午後一時より記念公會堂に於て擧行されたが張總理、鈴木駐滿海軍部參謀長、神吉次長を初め在京各機關代表者堂を埋めて嚴肅盛大に午後四時終了した（寫眞は合同慰靈祭）

# 滿洲國官吏 草刈り報國

非常時下の官吏に勤勞精神を體得せしめ、あはせて馬糧に必要な軍馬の糧秣にもと星野總務長官の發議による官吏の草刈奉仕は四日土曜日の半ドンを利用して開始された、正午響き渡るサイレンと共に直ちに晝食をすました總務廳官房の一行は手に手に鎌を携へて晴れ渡つた秋空に、星野長官を先頭に男女合せて數十名宮廷御造營地の草刈を行つた なほこのほゝ笑ましい企ては毎日引續き各官廳において行はれる筈

# 官舍街荒し

三日午前七時ごろ首都警察廳馬刑事が城內小五馬路附近を警行中サイダー百餘本を背負ひ通行する擧動不審の男二名を發見 本廳に引致嚴重取調べると原籍奉天省住所不定無職白文存（二十八）原籍安東省同林有林（二十九）の兩名で二日午前六時ごろ特別市義和路七廣田雄一氏（二十八）―假名―方に忍び込み前記サイダーを盜み出したことを自供したが官舍街荒しの常習者として餘罪取調中

# 宗教界を淨化

## 治廢を前に座談會を開く 社會教育對策に

民生部社會司では治外法權撤廢を前に社會教育上重大關係を有する國內宗教界淨化と宗教行政確立のため近く各宗派代表者を招き宗教座談會を開催することゝなつた

# 綺麗處で賑ふ

## 稻荷神社の秋祭り 今日本格的

毎年盛大に擧行される市內曙町二丁目新京稻荷神社の宵祭り祈願式は四日午前十時から午後十一時ごろ迄に擧行されたが秋晴に惠まれたこの日さすが新京草分の守護神だけあつて綺麗どころの參詣引きも切らず終日境內を賑はした 尙五日の本祭は事局に鑑み特に正午から北支上海兩事變戰捷祈願國威宣揚將士武運長久の祈願を行ふ豫定である【寫眞は稻荷神社の秋祭り】

# 應召職員の家族に 扶助方法決定

## 三日新京商議常議員會で 四項目を決議實行

新京商工會議所においては今次の事變に際し應召職員をして後顧の憂なからしむるため九月三日常議員會を開き應召職員の待遇及びその家族の扶助等に關し左記の通り決議實行することゝなつた
一、應召中妻帶者には本俸ならびに宿舍料のみを支給し獨身者には本俸のみを支給す
一、囑託はその給與額を書記又は雇員の本俸ならびに宿舍料に換算の上右に準じ支給す
一、應召中は賞與金を支給せず
一、除隊歸還の際は原職に復せしむ

# 日本橋通面目一新

## 更に繁榮を圖かる爲め 二萬五千圓で街路燈を

新京附屬地のメインストリート日本橋通は舊家屋を改築し面目を一新したが更に新街の繁榮を圖るため工費約二萬五千圓を投じて街路燈を新設することになり工事に着手した

# 中・小學生の手で 一萬個の慰問袋

## 費用は軍から出して製作 新京教育會の奉仕

新京教育會では關東軍から依賴をうけ北支及び上海附近の皇軍に送る慰問袋の作成を引受け一萬個の慰問袋を拵へる同慰問袋に要する袋や慰問品の經費は全部關東軍から出るので、錦ケ丘、敷島兩高等女學生の手で一萬個の袋を縫ひこれを各小學校、公學校、普通學校兒童及び中學、商業、女學校、青年學校の生徒に袋を分配し、兒童生徒たちは預つた慰問金で各自思ひのノヽ慰問品を買ひ求めこれに慰問文を添へて袋に詰め込み纏めて關東軍に集めて第一線將士に送附されるものである

# 錦ケ丘高女職員家族會

錦ケ丘高等女學校職員會では六日家族會を催し、家族連れで吉林の松花江で鵜飼ひ遊びをやり初秋の一日を淸遊することとなり五日午前八時四十分發列車で吉林に出發、かへりは同日午後七時三十五分着の豫定である

# 逃た人妻を種に まんまと三十圓

首都警察廳では河北省生れ住所不定無職金鳳祥（三十二）を詐欺罪として留置取調中である 同人は城內東大橋居住の知人陶秀有（三十二）の妻が一近逃走行方不明となり困難してゐるのを奇貨に「妻の居所を敎へてやるから」と陶からまんまと三十圓をせしめたが約束を果さず三日午前十一時ごろ東大橋附近を徘徊中を同廳刑事に取押へられたものである

# 軍籍者を 百五十名

## 警察前歷者を 目下募集中

奉天鐵道總局では日人陸海軍除隊者及警察官の前歷あるもの百五十名、その他鐵路局で五十名位づゝを募集してゐる年齡廿七歲以下の該當希望者は新京は滿鐵職業紹介所內在鄕軍人職業輔導部、哈爾濱は岡村部隊本部、チチハルは河野部隊本部にて志願の手續をとられ度いと

# 大西討伐隊

## 湯原縣下で 李匪團殲滅

去る九月二日大西討伐隊は湯原縣下において李頭目の率ゐる匪團百五十と三時間に亙る激戰の結果、敵に殲滅的打擊を與へて敗走せしめたが、この戰鬪においてわが軍は左の犧牲者を出した
△戰死 上等兵 堀川一郎 同 小割義一 同 南後二郎 同 渡邊（名不詳）
△負傷 少尉 大西俊治 准尉 小川（名不詳）
なほ匪團の戰場に殘した遺棄死體は五十六の多數に上つてゐる

# 興つきぬ競技に

## 政府職員養成機關聯合體育 第一回大會終了

大滿洲帝國政府職員養成機關聯合第一回體育大會の午後は潑剌たる若人の英氣愈よ溢れ應援團また熱狂し歡聲のうちにプログラムが進められ今日ばかりは敎へ子の潑剌さにつり込まれた職員連の嬉々として興味ある綱引を最後に豫定の競技を終了し井上大同學院長よりそれぞれ優勝者に賞品が授與され國旗を降納し恒吉大會委員長の閉會の辭について萬歲を三唱して午後三時閉會した、午後の成績次の通り
▲棒倒し、大同學院白組優勝 ▲運搬競爭、（一）大同學院、（二）農林技術員養成所、（三）敎員講習所 ▲綱引、第一回―司法部法學校、第二回―農林技術員養成所
▲一〇〇〇米リレー、（一）司法部法學校、（二）大同學院、（三）敎員講習所 ▲學校體操―敎員講習所 ▲野試合 第一回―大同學院 第二回―大同學院 ▲四〇〇米リレー（一）大同學院、（二）地籍員養成所、（三）司法部法學校 （一）中央警察學校、（二）司法部法學校、（三）農林技術員養成所 ▲綱引 第一回―大同學院 第二回―敎員講習所 ▲八〇〇米リレー（一）財務職員養成所、（二）敎員講習所、（三）司法部法學校 ▲一〇〇〇米リレー、（一）地籍員養成所、（二）司法部法學校、（三）大同學院

# 劃期的英斷

## 五日花代、酒肴料全部獻金 熱誠示す料理店組合

日支事變は支那側の暴戾なる挑戰的態度により戰局は全面的に擴大戰ひ高潮に達し勇猛果敢な皇軍第一線將兵は不法支那膺懲に肉彈以て空に陸に輝やかしき活躍を續け幾多戰功美談が日々報ぜらるゝと共にまた銃後國民の感激は獻金となつて愈よ熾烈に相次いでゐるが附屬地五十四軒を以て組織する大新京料理店組合はこれ等一線將兵に對し赤誠を表徵する慰問金募集について爾來數度の協議を重ねた結果毎月制定された第一日曜の公休日を廢してこれを獻金デーと定め當日の藝酌婦の代賃上金及酒肴料の賣上金全部を皇軍慰問金として贈ることに決定し既に當局の了解も求め愈よその第一回を五日に實施することとなつた、この計畫は料理組合員の感激から生れた犧牲的奉仕であることは勿論であるが劃期的な英斷として頗る注目されてゐるものであり組合員も非常な意氣込みに張切つてゐる、尚この獻金デーは當分毎月第一日曜を期して連續的になされるものである

# けふの天氣

けふの天氣 曇り時々晴
日の出 前六時五分
日の入 後七時九分
月の出 前六時十八分
月の入 後六時四九分
きのふ氣溫 最高 二三度七 最低 一三度九

# プレンソーダ

首都警察廳衛生科には夫人を內地においての獨身生活者が多い、曰く磯邊博士、星野技士、中野技士がそれでまた申合せた樣に男手に辛い自炊生活を營んでゐるのだから この一連、當るとさはると微笑ましい炊事生活の苦心談に花を咲かせてゐる、その磯邊博士に「ビタミンCの方は大丈夫ですかね」と問へば「なアにさ、我輩は朝から晩まで味噌汁主義だよ、その中に芋とか野菜類をたんまり投げこみ、どろつとした奴を溫い飯にぶつかけてかきこむんだがそれがまた珍無類に美味しくてね」と流石にお醫者さん、なかなか味な獻立振りである



新京區公示第十七號
秋期淸潔方法施行ニ關シ新京警察署長ヨリ告示アリタルニ付新京警察署管內居住者ハ左記標準ニ據リ檢查日迄ニ淸潔方法ヲ施行シ警察官吏ノ檢查ヲ受ケラルヘシ但シ指定期日迄ニ施行シ難キ者ハ其ノ理由ヲ具シ新京警察署ノ承認ヲ受ケラルヘシ
昭和十二年九月二日
南滿洲鐵道株式會社 新京支社地方課長事務取扱 菅野誠

記
淸潔方法施行標準
一、施行日ハ晴天ノ日ヲ擇フコト
二、住宅及物置等ニ在ル家具其ノ他移動シ得ヘキ物品ハ全部屋外交通ノ妨ケトナラサル場所ニ搬出シ家屋內外ヲ掃除スルコト
三、倉庫內ニ格納セル多量ノ物品ハ之ヲ屋外ニ搬出スルニ及ハセルモ體戶ヲ開放シ通氣射光ヲ計リ掃除スル事
四、天井又ハ床下ニシテ掃除シ得ヘキ箇所ハ掃除スル事
五、疊、敷物、寢具、衣類等ハ三時間以上（成ルヘク長時間）日光ニ曬スコト但シ日光ノ爲退色ノ虞アルモノハ室內ニ於テ乾燥セシムルモ妨ケナシ
六、水道栓、井戶、日常食料品置場、廚房、浴室、煙突、穴倉、地下室、塵芥箱、下水溜、厠圍及其ノ附近ハ特ニ丁寧ニ掃除シ其ノ破損ノ部分ハ之ヲ修理スルコト
七、家屋、物置等ヲ掃除シタル後ハ通風射光ヲ計ルコト
八、邸宅內ニシテ濕潤ノ場所ハ土砂、石炭灰又ハ木炭ヲ敷キ其ノ乾燥ヲ計ルコト
九、塵芥箱其ノ他汚物ハ容器ニ納メ若ハ散亂セサル樣適當ナル場所ニ集積シ置キ搬出ニ便スルコト
一〇、劇場其ノ他興行場、工場、旅館、料理店、飲食店、寄宿舍、下宿、理髮店、魚菜市場ノ如キ常ニ公衆ノ出入スル場所及業態又ハ位置ノ關係上不潔ニ陷リ易キ場所ハ特ニ注意シ丁寧ニ掃除スルコト
一一、市街地ニ於テ塵芥箱ヲ設備セサルモノハ之ヲ設備スルコト
一二、前各號ノ外警察官吏ノ特ニ指示シタル事項ハ嚴守スルコト

| 月日 | 淸潔方法檢查日割區域 |
| --- | --- |
| 九月六日 | 北一條通、北六條通、北十條通、東七條通各警察官派出所管內 |
| 九月七日 | 東五條通（石碑嶺炭坑附屬地ヲ含ム）大和通、富士町各警察官派出所管內 |
| 九月八日 | 朝日通、東二條通各警察官派出所管內 |
| 九月九日 | 日本橋通、新京驛各警察官派出所管內 |
| 九月一〇日 | 西公園、八島通、西二條通各警察官派出所管內 |
| 九月一一日 | 和泉町、白菊町、桔梗町各警察官派出所管內 |

# 義人長七郎（三十三）

（禁上演映畫化）中川雨之助
竹枝一郎畫

## 寶藏の賊（三）

「さらでもあらうが、此ことは上様から、この對馬守が直々に承はつて、それを殿の御耳に移すのだ、拙者も幕府執政の一人だから別にお咎めにも及ぶまい」

といつて對馬守は、しきりに説いてみたけれど、右京之進は、どうあつても承知いたしません。

そこで對馬守も餘儀なく江戸へ引返し、改めて將軍のお墨付を貰つて右京之進に渡しました。

それが十月のことでしたが、次の十一月六日の晩のこと、忠長卿が何心なく縁側へ出てみると、護衛の士が番卒や大工を使つて、庭のぐるりに厳重な柵を建てゝ囲ました。

不思議に思つた忠長卿は、腰元の深雪といふのを呼んで、

「あれは、どうしたのか」

といつてお尋ねになりました。

深雪は、内々わけを知つてゐますが、明らさまに言へません。

「詳しいことは存じませんけれど多分江戸表から、なにか御沙汰があつたからでございませう」

と、いつて、深雪も、この君の御最期を、さすがに、おいとしいと思つて、袂を濡らせました。

すると忠長卿、眉を動かし給ひ、

「ウム、江戸表からの沙汰で……左様か……」

といつたまゝ、ヂッと初冬の庭に咲く寒牡丹の花を視つめてゐられたが、その瞳にはいつか涙が一ぱいに溢れて來ました。そしてそのまゝサッサと、奥へはいつて行かれました。

同じ寛永十年、十二月八日のこと。

この日は、殊の外きびしい寒さで、朝から、チラホラと、雪が降つて來ました。

忠長卿は、お付の腰元共に向ひ、

「そちたちも、今夜は、早く下つて息むがよい」

といつて、部屋へ下らせて、あとは只小間使の少女二人を相手に、配所の雪の一夜を淋しく過ごして居られましたが、そのうちに、不圖思ひ出したやうに、

「さうだ、今夜は、寒さ凌ぎに、一獻汲もう」

といつて、一人の少女には酒の用意を、また一人の少女には、肴の支度を命じました。

やがて二人の少女は、酒肴を持つてお居間へ踊つて來て見ると、これはそも如何に、忠長卿は、その僅の隙に、自害をして居られたのです。

白の小袖を着て、その上から、三ツ葉葵の御紋の付いた黒の小袖をスッポリと引かぶつて咽喉笛を見事にかき切り、前のめりに俯伏して死んでゐました。

白小袖が、ベッタリと血に染まつてゐるのを見て、仰天した少女が、

「あれえ、大變」

と、金切聲を振りしぼつたので、その聲に驚いて駈付けた付添の家來並に警護の士たちは、この態を見て二度びつくり、早速主人右京之進にその由を告げました。

右京之進重長は、將軍の命黙止し難く忠長卿に對し、自殺をせねばならぬやうに仕向けはしたものの、目のあたりに、この痛ましい御最期の有様を眺めては、さすがに胸の張り裂く思ひがいたしました。

駿河大納言忠長卿は、斯うして高崎の城内に恨を呑んで一命を殞されたのです。が、その身の落度からとはいへ、つまり御兄君家光將軍のため、手を下さずして殺されたやうなものです。